趣味と家庭

馬肥ゆる秋
弱い子の健康を取返しませう
恐しいのは腺病質

秋は健康三昧を享樂し得る好季です、弱い子の健康を取返すにも此の季を外さぬ事です

腺病質の子 は風邪を引き易いそして風邪がこじれてまた色々の不快な病狀を惹起します寒冷な候に入らぬ前に十分健康の下地をつくつてをかねばなりません、子供に結核のくるのは隨分多いものですが、大人に見る肺結核は少く、大抵淋巴腺や腹膜にまゐります學齡前後の子で痩せてゐる割に腹部が膨れてゐて、元氣がなく時々熱が出る、食慾がない、或ひは腹はあまり大きくなくつても何となく張つてゐる腹痛を訴へる樣な場合既に腹膜炎の兆してゐる證據です可なり強い大きな咳嗽をする子がありますよく咳嗽をする子があります可なり強い大きな咳嗽が長く續いてなかなか療らない熱も時々出る、體質は前申した樣でだんだん痩せてゆくといふ樣なのは肺門淋巴腺結核で肺門部の淋巴腺が腫れてきた時によくくる症狀ですいちばん恐しいのは結核性の腦膜炎でその前徴としてよく遊び好きの子がいつとなしに一人引籠つてごろごろしてゐる樣になつたりしますまた子供に似合はず頭痛を訴へたりするときは油斷のならぬものです腹膜炎なり、腺結核なり相當進んでくるとすぐそれとわかりますが輕い頃はただ風邪ひき位のことで氣付かずに過してしまひます、兎に角素質のある子で、未だ熱も出ない位だつたらなるべく戸外で遊ばせ、十分日光浴大氣浴等自然の恩惠を與へさせ積極的の增强法を試みます、厚着させず

皮膚の抵抗 を強める一方、氣候に應じて衣類を調節して風邪ひかぬ樣注意します、食物は偏らぬやう、肉類、卵、野菜類その他好きなものを萬遍なく與へる樣にします外に肝油など常用するのもいいことです、それから痲疹百日咳にはなるべく罹らぬ樣注意しますこれに罹るとよく潛んでゐた結核性の病氣が急に惡化してくることがあります、熱でも出て結核の病狀がはつきりして來たら絶對安靜を守らねばならぬことは申すまでもありません

第一回蹴球
都市對抗戰前評
斯民社T記者

滿洲國運動シーズンを飾る第一回都市對抗蹴球大會も愈々二十七、八、九日の三日間西公園競技場に於て、六都市即新京、吉林、奉天、大連、チチハル、ハルビン、チームを迎へての爭覇戰は各チーム實力の接近と國技蹴球に關心を持つ一般大衆の熱狂的聲援に一層の興味をそゝり隨處に熱戰を展開するであらう、猶此の大會の結果、我國蹴球界のナンバーワンを嚴重に選拔し滿洲國蹴球代表チームを組織し、日本への遠征を決行すべく蹴球協會に於ても此の大會を質的にも重大視し居る所のものである、奔放と元氣、强引性と正攻法の凡ゆる特徴を持つた、六チームが優勝杯を繞つての爭覇こそ吾斯蹴球界空前の豪華版であらう、以下優勝候補の新京、大連兩チームを中心に各チームを檢討して行こう

新京チーム

總員二十五名は北滿特別區第七中學校グラウンドに於て合宿練習を行ひ、主將友納郭マネージヤーの統制の下に猛烈な練習を續けて居るとか、聞く所に依ると近代的戰法に更に機械的な動作を加へて一點先取さるれば必ず一點をむくひ、二點入れられれば必ず二點をむくいと云ふ樣な猛烈な鬪爭精神を涵養し居るとか云はれ、優勝候補も隨一と目されてゐる、斯くの如く精練されたチームは確かに各チームの驚異であらう、去る十九日の中銀との試合結果は十五對一のワンサイドゲームにて大勝してゐるところを見れば、其の實力の如何ばかりであるかはかり知れぬものがある、チームの構成人員をみても、之と云ふ穴も無く最近朝鮮のナンバーワン安、名フルバック東京の大學より梁瀨、大前などの一流大學選手を迎へ內容の充實を期したと傳へられてゐる、就中CF郭などは一試合に必ず三點を擧げると云ふゴールゲツターで、又之を助けるL、I、孫は前オール、北京のナンバーワンで、前線の陳、梁瀨、郭、孫の機械的とも云はれる好連絡は今最識にあると云はれてゐる

C、H、よりLW、陳へのサイドチエンヂは直ちに攻擊に變化レスピーデイーなセンタリングはセンタースリー猛烈なダツシユと相俟つて、新京チーム獨特の戰法と言はれてゐる

H、B、は主將友納の老巧なる球さばきに强引果敢な金、王の兩サイドハーフを加へ、これも完璧と云はれてゐる、F、B、も安を加へてR、F李の驅引きは駿足を誇る兩翼だけに一抹の不安もないものである、而し守備に一抹の不安を感ずるのはG、H、の隋及高で大きな試合に出てゐないので未知數であるが、合宿練習終了後には完成されるものと見なさなければならぬ故並々ならぬ實力を有するチームであらう

大連チーム

優勝杯をねらふ强敵大連チームは全大連のナンバーワンを選拔した最優秀チームで組織され、一人一人が優れた技巧と强引果敢な正攻法に依つて其の攻擊法は如何なるチームの守備も一盡に打破されると云はれてゐる、就中L、H、蔡の長蹴は其のまゝ攻擊に變化し、C、F、郭の正確なるシヨツトは神技とも言はれてゐる、H、B、呂の駿足と、前線李、朱のトライアングル攻擊法は敵の守備を攪亂し、新京チームとの對戰こそは、最も興味あるものであらう、次に各チーム評をなせば好調にあると傳へられてゐるハルビンロシヤ人チームは偉大な體軀に粉碎主義をとり、全ハルビン二十六チームよりピツクアツプされたものなれば、又あなどり難い强敵である、奉天、チ、ハル、吉林チームは未知數だけにどれだけの强味を持つか、之また獨特の戰法と元氣で優勝杯を目指していづれのチームが勝つか實に混沌として戰つてみねば分らぬ戰前の興味である、優勝杯いづこに　以上

ニッポンタロウ　海底旅行の巻

(1) シカシタコノテハナガイノデ、イキナリテヲノバシテ、ジブンノアタマニトビアガツテ、タロウノノドヲシメツケタ。ウーム、コレハクルシイ、ヤイコラ、タコニユウドウ、ハナセ〳〵。コノトコロタロウハダイブンクセンモヨウダ。

(2) ハヽハヽヨワイコゾウダ、ドウダマイツタカ。トイフト、タコニユドウハオホイバリデ、タロウヲ二ホンノテデ、メカクサシアゲタ。ニツポンタロウハノドヲシメラレナガラ、ガマンシテ、サツキカラ、ニダンテチネラツテキタノダ。

海の外から

高山に住む種族　コロ族の生理異變

珍らしい高山棲息の種族—南米ペルーに在るチエロ、ドパスコといふ四三三〇米の高地に棲むコロ族といふのがある英國の生理學者バイクロツトの調査に依れば（一）手の靜脈が緊張（二）横隔膜最深部は卅二粍で世界一（三）血液內に赤血球の數が多量等珍研究が發表された

資本主義の國から　社會主義の國へ宣傳飛行

資本主義の米國から社會主義のロシアへ訪問飛行、米國は紐育から露西亞のモスコーへ向け近く商品宣傳飛行が開始される、これは米國商人の發起で企てられたもので米本國では此の企てが主義上成功するか何うか、多大の興味をかけられてゐる

新刊紹介

△新京（八月號）卷頭言に滿洲國協和會を訂す、堂本鮮督事務官の滿洲白両觀、山下藥博の阿片使用の起原に就て、アフガニスタン近世史、新京土建界展望その他一部金五十錢、發行所新京日本橋通入新京社

△滿洲國社會事業概要、滿洲國內に在る各種社會事業の現在を民政部地方司社會科內に在る滿洲國中央社會事業聯合會が編纂したもの非賣品

△奉天商工月報（八月號）主要記事、動く奉天の經濟事情を始め各種の調査資料を蒐む一部金五十錢、發行所奉天商工會議所

ラヂオ

廿五日（土曜）新京

前六、〇〇　ラヂオ體操（東京より）
同六、二〇　ラヂオ體操（滿語）
同六、四〇　滿語講座
同七、〇〇　日語講座　高宮盛造
同七、二〇　ニュース（日語）　植松金枝
同八、〇五　經濟市況（東京より）
同一〇、四〇　經濟市況（東京より）
同一〇、五九　時報レコード（滿語）
同一一、三〇　ニュース（滿語）
同一一、四〇　經濟市況　ニュース（東京より）
後〇、〇五　經濟市況（奉天より）
同〇、三〇　演藝レコード（滿語）

同一、〇〇　演藝（滿語）大觀樓　小平
同二、〇〇　日用品値段（滿語）
同二、四五　ニュース（滿語）
同二、五〇　經濟市況（日語）
同三、二〇　ニュース（東京より）
同三、三〇　經濟市況（奉天より）
同四、〇〇　官廳ニュース（滿語）
同四、三〇　ニュース（滿語）
同四、四〇　ニュース（滿語）
同四、五〇　ニュース（鮮語）
同五、〇〇　子供の時間（英語）
同五、三〇　時事解說（奉天より）
同五、五五　番組豫告（滿語）氣象通報
同六、〇〇　ニュース（東京より）
同七、〇〇　落語　春風亭柳橋（東京より）
同七、二〇　浪花節週間（第六日）（終）—（大阪より）藤堂高虎報恩記　梅中軒鶯童
同八、〇〇　明月大會實況—鐵嶺龍首山より中繼—
同八、三〇　時報ニュース（東京より）
同八、四五　ニュース　氣象通報、番組豫告
同九、〇〇　演藝（滿語）艶春院　小蘭　ニュース（滿語）
同九、三〇　講演（滿語）度量衡概要　實業部權度局　馬士鶴

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	八五	氷鯛	五二
チヌ鯛	四〇	甘鯛	一七
水鯛	六四	カツオ	一四
ニベ	一四	ブリ	一七
ヒラス	三〇	サハラ	二七
スヽキ	二一	サバ	一〇
アジ	一一	カレイ	一二
ヒラメ	二七	ボラ	一六
コノシロ	一七	キス	四五
イワシ	一〇	アナカツ	四〇
アユー	三〇	ウナギ	八〇
アコウ	四〇	サヨリ	二六
ハゼ	一三	タコ	二六
イセエビ	八〇	車エビー	一五
コエビ	六六	カニ	二三
クモ	二〇	アナゴ	三五
シラオ	三〇	アワビ	五〇
ハマグリ	八	シジミ	八
カマボコ	一〇	フカ	八
メジ	二六	シイラ	九
ギサミ	一三	マグロ	九〇

日本の聖火　生田葵作

一九〇

破牢（三）

「御分、内部へは鐵梯子が寄せつけてあります」

一足先に高塀内へ姿を入れた幸之助は、外部から高塀の頂上へ鐵梯子を傳はつて登つて來た吉兵衞へとさゝやいた。

「よし」

微にいつて吉兵衞はヒラリ高塀を越て、幸之助がスラ／＼とおりて行つた鐵梯子へ身を躍らし、同じやうに手際よくおりて行つた。

吉兵衞が地上へおり立つと、先に入込んだ配下の者達はいつの間にか、黒裝束の上から、六角牢獄内に勤務の小者達が身に着ける淺黄染の役法被を羽折つてゐた。

牢獄内へ入込ましてあつた小者が、豫々の吉兵衞の命令を守つて工夫したのである。

「俺もそいつを着やう」

吉兵衞は幸之助に云つて、役法被を引き懸けた。配下の者達は黒布の覆面巾を外して手ぬぐひで頬かりぶりをしたが、吉兵衞だけは、黒頭巾のまゝで手ぬぐひの頬かぶりをした

「もう、火の手が上りさうなものだが」

吉兵衞は又幸之助の耳の端へ口を持て行つてさゝやいた。

其處は獄の隅で前面には何かの倉が立つて居るので、わざ／＼入り込んで來なければみつからない忍んで居るには屈竟な場所であつた。

風がさつと吹いて來て、其邊に立つてゐる。低い立木をゆさぶつた。

「東鶴院口の者はみんな忍び込んだのですかい」

幸之助が吉兵衞の耳に口をつけてきいた。吉兵衞はくらやみの中でうなづきながら、

「又藏の手の者は十人、入込ましてある駒ケの窓内で、三手にわかれ、三ケ所へ火をつけることになつてゐる」

その聲の終らぬ中に、くらやみを此方へやつて來る足音が聞かれた。

烏丸口になはばしごをおろした聞陽者の爲五郎であつた。

「兄貴。假白洲の獄の下は一面の火だ、それだのに、役人達は東所で何にも知らずに夜食の最中だ、今に燃え上りますぞ」

爲五郎が引き返して來ての注進に吉兵衞は突と一足前へ出て。

「爲五郎御苦らうだ。御らうや此の風ぐ合では丁度風下になるかぎを盜んで、手つ取り早く明けとけ」

その聲を聞き附けると、爲五郎の方でも吉兵衞の方へ進み寄、

「親分ですかい。上首尾にゆくやうです。承知いたしやした、それでは又後刻お目にかゝります」

爲五郎は又闇黒の中へ引き返して行つた。

その足音がまだ消えぬ中に何かしら異樣なさけび聲が聞えて來た

吉兵衞は闇やみの中で幸之助と眼と眼を見合した。

「親分、燃え上つた火を、誰かがみつけたんでせうね」

「そんなことだらう、だが高く燃え上らないと見えて、此邊がまだ明るくなつて來ない、火の手がすつかり上るまで此處にこうしてゐるんだ、なまじひ早く飛出しやどぢをふむぞ」

役所法被を着込んだ配下の若者が、ともすれば辺り切つて躍り出して行きさうになるのを吉兵衞はいましめた。

その中に火の手は次第につよくなつて行つたと見え、あたりがぱうと日川館の覗窓のやうに明るく明るくなつて來たばかりか、パチパチと木のはぜる音、物のこはれる音がさう／＼しく立ち出した。

家庭醫事

胃腸は一日に五千瓦の消化液を分泌

胃腸藥の變遷と解剖

胃腸で食物が消化されるといふことは、どなたも御存知ですが、その消化のために分泌される消化液がどれだけの分量であるかは、御存知ない方が多いだらうと思ひます。先づ唾液、之はたゞ口の中をうるほすだけのものではなく、立派な消化液で、プチアリンといふ酵素を含み、食物を口の中で咀嚼する間に唾液と混ぜ合され

消化の第一歩

が始まります、さうしてその分量も一日中に約千グラム、——一リツトルに達します。よだれ一リツトルとは、恐らくどなたも案外の氣がなさるでせう。

胃からはまた胃液といふ消化液が分泌されます。胃液についてはロシアのパヴロフといふ學者が、犬の胃に穴をあけて管を體外に出したまゝ何十日も生存させておき分泌される胃液を採取して色々のことを調べた有名な實驗があります。人間ではまだそんな實驗は出來ませんが、一日中に分泌される

胃液の量は二三千グラム

に達するといふ學者もありますが、少くとも千五百グラムはあると推定されます。

食物が十二指腸に移りますと、膵臟から膵液が、肝臟から膽囊を經て膽汁が分泌されますがこれがいづれも五百グラムづゝに達します。小腸へ移つては腸液が、これは千五百グラム以上分泌されます。以上を合計しますと、一日中に分泌される消化液の總量は優に五千グラム、——二升七八合になる譯であります。

勿論この消化液は食物の消化された成分と共に吸收されますので分泌されたからと云つて體外に失はれる譯ではありませんが、兎も角これだけの多量な消化液を分泌するといふだけでも胃腸の働きは容易でないといふ事がうなづかれませう。

で、胃腸が病氣になりますと、これらの消化液の分泌が充分に行かなくなるのは申すまでもない事で、そのため食物が不消化となり吸收が衰へ、榮養が低下して、身體が衰弱するといふ順序になるのですが、その場合の療法として考へられることは、障害された胃腸を保護、休養させて、自然の恢復を俟つといふことが一つ、消化劑などを與へて衰へた胃腸の働きを補ふといふことが一つ、胃腸の組織に何かの方法で力を賦與して

衰へた働きを復活させる

といふことが一つであります。

急性胃腸カタルの場合に絕食する事、蒼鉛劑などによつて炎症の粘膜を保護する事、乳酸菌劑などによつて腸內に生ずる有毒物を制限する事などは、保護休養の療法に屬し、ヂアスターゼ其他の消化劑は補助の療法に屬します。今迄の胃腸藥は多くはこの二者の何れかに屬する物で、最後の胃腸に活力を與へて衰弱した機能を振ひ起させるといふ意味の藥としては、最近一般によく用ひられてゐる「錠劑わかもと」があります。

勿論胃腸を休養させる療法も、障害された機能を補ふ療法も必要でありますが「錠劑わかもと」は乳酸菌劑のやうな乳酸を生成して雜菌の繁殖を抑止する作用ある酵素をも含んでをり、またヂアスターゼ、リパーゼ、トリプシン等の各種の消化劑を含んでゐますから

謂はゞ三者の療法を併せた

やうなものであります。

「錠劑わかもと」の胃腸の機能を强くする作用は、學術的には細胞賦活作用と呼ばれるもので、この藥のもつとも力强い特色であり、急性慢性の胃腸カタル、腸自家中毒、異常醱酵や、胃弱、胃下垂、胃酸過多症、胃潰瘍のやうな慢性胃疾患にもひろく効果を現はすのは、主にこの作用によるのであります。

小兒の消化不良

榮養素の缺陷からも起ります

これから秋口へかけては、小さいお子樣を持たれるお母樣がたは消化不良にかゝらせぬために苦勞をなさいます。消化不良もたゞ便が軟かくなつて回數が多いくらゐのことで、熱もないやうならば、まづ輕い方と思つて差支へありませんが

中毒症といはれる、熱が高くて、急に衰弱に陷り、脈搏も惡くなつて、痙攣を起したりするやうな、中毒症狀の甚だしいものは重體であつて油斷が出來ません。殊にかういふのは乳兒から二三歳までの小さい方に多いので、危險も一層多い譯です

それから今一つ油斷のならないのは、症狀はさして重くはないが經過が慢性的になつて、下痢が容易に治らず、榮養が非常に害せられて、發育がおくれ、體重は增加するよりも次第に減じて行く

消耗性の消化不良です。

消化不良の便でもつとも多いのは、綠便と顆粒便ですが、綠便は色の靑いのが異樣に思はれて、素人ではよく氣になさる方がありますが、少々ならば別に心配はありません。顆粒便は白い小さなツブ／＼で乳のまだ消化されないものですが、これも澤山でなければ構ひません。しかし細い泡沫が多かつたり、粘液が下痢便にまじつて出るのは、相當警戒を要します。

子供が消化不良を起したら、先づ食餌を大いに

制限します。一二日は湯ざまし、番茶などだけ與へます。しかし乳兒では體力の餘裕が多くありませんから、絕食を長く續けるのは考へ物で、殊に慢性的に消化不良が長く續いて身體の衰弱がひどい子供には、問題です。

藥としては色々の成分の綜合されてゐる「錠劑わかもと」がよろしい。これは消化を助ける成分もあれば、腸內の細菌によつて起る自家中毒や異常醱酵を防ぐ成分もある上に、胃腸全體の力を强くする成分もあるので、色々の方面から効果が及ぶ譯であります。

それに子供の消化不良は屢々榮養素の缺陷——主としてヴイタミンB、それから成長促進のアミノ酸、無機物などの缺乏から起るとされてゐますが、「錠劑わかもと」はヴイタミンBは最も豐富であり、その他の榮養素も含んでゐますからそれらの缺陷を補ふことにもなります。

味は子供もよろこんで服む味のよい藥で、どんな小さい赤ちやんに與へても差支ありません。赤ちやんでしたら、錠劑を細かく碎いて、お乳をあげる前にお湯にでも溶かして服ませてよく、牛乳で育てる方でしたら牛乳の中へまぜて差支ありません。母乳のない人工榮養の赤ちやんは消化不良を起しがちで、發育も充分でない事が多いのですが、この「錠劑わかもと」を平常にお服ませになると、消化不良も防がれ、發育も母乳兒にかはらぬ位よくなります。

「錠劑わかもと」は東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓、即ち一日數錢の廉價で發賣され全國藥店で販賣されてゐますが、萬一品切れの場合、或は直接發賣元から送藥を望まるゝ方は、藥價だけ送金すれば、送料は本舖で負擔して一回にても急送されます。

姙娠中の食慾不進

姙娠すると、多くの方は食慾に變調が起ります。ひどければ食慾がほとんどなくなつて嘔吐をする、所謂つはりになりますが、それ程でなくとも肉類や脂濃いものが嫌やになつて、淡泊なものばかりを好み、そのために不知不識榮養が不充分となり衰弱を招きます。近頃では早産や流産がヴイタミンBの缺乏から來ると謂はれてゐます。

「錠劑わかもと」はそれらの榮養素の補給にもなり、胃腸の働きを强めて、食慾を增進する効果もありますから、姙娠中の方には常用されると結構です。つはりにも効果があります。

母の經驗から　弱いお子樣に勸めて

（長野）澤田藥店

初め「錠劑わかもと」が店に入つて來た頃は「またか」といふ氣持でした。今迄隨分多種多樣な藥品が、新聞廣告と共に入つて來ても、大多數が長續きしないからでした。

たまたま一母が、非常に病弱で食慾減退して、血色が著るしく惡く、これはと思ふ樣な藥を多種上げても、とんと効果が現はれません。其處で、よし試驗的に「錠劑わかもと」を上げしようと、しばらく連續お上げした處、身體の調子が良く、食慾も增進するとの事、それに意氣を得て尙も續けて服用すると（中略）血色は生々とし、食慾も進み、以前とは違つてきたではありませんか。（中略）

それ以來胃腸病で苦しむお方や、病氣で衰弱してゐるお方には、只「錠劑わかもと」一點張りにお奬めしました。只單に効能書を讀んでの上でなく、實際目のあたり實驗しての言葉故か効能其他お奬めするに、熱意が出て、お客さんの方でも信用して買つて行きます。（中略）

或日五歳位の男の子を連れた婦人が店に見えて「此子が一ケ月程前からふさぎ込んで靑い顏をしてゐて困ります（中略）食慾がグッと減つて目が凹んでゐます（中略）何かよい藥はないでせうか」と相談なされました（中略）私は母の實驗談をして「錠劑わかもと」をお奬めしておきました。と一ケ月程後御婦人が參りまして「有難うムいました。先日の藥が効いて食慾も進み、大へんよくなりました」と厚く御禮を申されまして、今度は、他の子供にも全部服ませたいからと云つて大瓶を買つて行かれました（下略）

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　八月廿五日（土）

本紙 一部五錢 一ヶ月一圓 / 廣告料 普通 一行一圓三十錢 特別 同 二圓五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

新京手形交換所 一日から開始
朝鮮銀行支店内に假交換所

過般來朝鮮銀行新京支店を中心として在新京の日滿銀行業者間に手形交換所設立計畫は其後具体化し愈よ來月一日より朝鮮銀行支店内に於て假交換所を設け手形、小切手及諸證券の交換決濟を行ふ豫定となつた、尚監事には當分鮮銀の馬場支配人代理が當る事に内定してゐる、追つて司法省の正式指令を俟つて商法の適用を受ける交換所として本格的な活動が開始され、商取引の圓滑が期待されて居る

米國銀國有令の描く波紋（二）
今井英一

そこで現在の金保有高七十七億五千萬弗から計算して大藏省手持の六億九千萬弗を引くと買上銀の數量は十三億オンスとなり亦金準備を法規上必要な四十億弗とすれば十億オンスで濟むのであるがこれだけの銀を一度に買ふことは實際問題として不可能であるそこで差當り現在米國内に於ける銀の推定總ストック一億五千萬オンスが全部國庫に納められ之に對して法定價格一弗二十九仙で銀證券が發行されるものとしてこれにより增發される通貨は一億九千萬弗に過ぎない、しかもかくて增發される通貨は轉々流通し購買力として變化するものではなく準備銀行に舞戻るか、增發された通貨と同額の貨幣恐らくは聯邦準備券がその額だけ引込み、結局これしきの銀國有だけでは大したインフレーションを招來するものとは思はれない

×

殊に一八七〇年來の長年月にわたる不況もアメリカが金本位に復歸するまでは回復されずまた九〇年來の不況も通貨の不安が除去されて始めて終局をつげた事實が嚴然として存在する場合に於てかゝる事實を無視してまでもインフレに猛進する意思は大藏當局には蓋し持合せないであらう況んや今回の銀國有令がこれまでの銀政策と同じく純經濟的のものといふよりもむしろ政治的意味を多分に含んだものであつて西部銀產地地方から選出されてゐる議員たちへの「嬉しがらせ」であつて見ればこんどの銀國有令も名を與へて實なきものであり結局インフレの可能性はあるが實現性に乏しいものといはざるを得ない

×

シルバーメンは銀價への影響を述べて「政府は銀國有化を宣してから後は銀を商品として見るよりは寧ろ通貨として認め自國内で求め得ない量を外國市場から買入れ以て銀準備の增加に努めるであらう、その結果世界市場で銀相場は疑もなく昂騰するであらう」といつてゐるが今度の命令による買上は差當り一億五千萬オンス内外に過ぎず支那印度その他銀保有國の總ストック百二十億の八十分の一にすぎないからその影響は極めて少く何等持續的な銀價騰貴作用を伴ふものではない

而かもこういふ實驗は米國に於ては銀の歷史上決して皆無ではない、一九一八年から一九二三年に至るまで米國はピットマン法に基いて二億オンスの内國の銀を一オンスに付一弗で買付けたが然かしロンドンの價格が一オンスに付き五十七ペンスから三十二ペンスに下落するのを如何ともすることが出來なかつたではないか、假に銀價を五十仙に引上ぐるとしても既に紐育の銀塊相場は五十仙に近いからその影響するところ亦極めて微弱であるといはざるを得ない

糸染サロンも賣止實施決定
當局、當業者に强要せん

【東京國通】糸染サロン輸出同盟が八日の總會で調印賣止申合せを蹂躙した日布洋行を膺懲し、且つ賣止め違反の防止を申合せたが、バタビヤ代表部の讓歩によつて右申合せが空文たらんとする現狀から、不干涉方針の當局側も陶磁器未晒綿布は賣止めをなしサロンのみ放任し置く事は國策上より看過し得ぬとし、商工省では廿七日輸出同盟に各代表を招き當業者の結束を强要する筈である

在奉外國銀行 營業不振

【奉天國通】當地ナショナルシチーバンク、英國香港上海バンク等外國銀行筋では最近衰微の一途を辿り、その營業成績は事變前に比し三割乃至四割の低減を示すに至つたが右の主なる原因は世界一般不況の影響による外日本系諸銀行及び滿洲中央銀行の發達に伴ひ顧客の殆んどはこの方面に奪はれ、又一方從來の主要顧客たる外人毛皮商が不振に陷つた爲である

圖寧線假運轉 九月一日から實施

【大連國通】京圖線終站圖們より會寧に出る圖寧線は豫て工事中の所此程李樹溝迄完成したので、九月一日より圖們李樹溝間の假運轉を實施する事になつた、全區間の完成は明年十一月の豫定である

米國の映畫會社が 滿洲國へ進出

【大連國通】アメリカの映畫會社メトロゴールドウイン社では近く日本輸出向け映畫に日本文タイトルを附する事となつたのを機會に滿洲國への進出を企圖し、奉天に支店を設け全滿の自社映畫の配給統制を行ひ外國映畫會社にとつての未開市場を開拓する事となり、同社東京支店長ヨハンソン氏が廿一日扶桑丸で來連、ヤマトホテルに投宿中であつたが、廿四日午前九時大連發はとで奉天に向つた

木材課稅法 制定さる

【奉天國通】木材に對する課稅は木稅と地方稅別が各省各縣共區々にして統制が無かつたが、來る九月十七日より木稅地方稅木捐を制定し、弊害を除く事となつた、即ち木稅は代採地より搬出する時にその搬出者に對し價格の百分の一を賦課し、地方稅は木稅の百分の十五を縣内に於て伐採せられたるものに限り徵收する事となつた、滿洲國側の稅制も之により着々整理を見る筈である

間島地方の 阿片收穫良好

【龍井國通】間島及び琿春地方に於ける今年の阿片栽培成績は成育期に入つて雨天が續き一般に大凶作を豫想されてゐたが採汁の結果、收穫は案外良好で昨今不況に喘ぐ農村は斷然阿片景氣で潤ひ一部負債の返納、利子の清算も行はれ農家は愁眉を開いた觀がある

長春から新京へ 芸苔物語り

獨立守備隊撤廢反對 市民大會開く
百余年の歷史を辿りて……（三）

獨立守備隊全廢の理由は守備隊は滿鐵沿線の警備に任じてゐるもので軍隊本來の意義を沒却してゐるといふにあつた、然し在滿居留民にとつてはその理由はどうであらうと杖とも柱とも賴つてゐる守備隊を全廢されて駐屯軍を半減されることは死に次ぐの苦痛であり重大なる問題である、はたせるかな全滿各地に撤退反對の烽火は期せずしてあがり、あたかも燎原の火の如くみるみるうちに燃へ盛つた、このころ長春には公主嶺守備隊のうち一個大隊が駐屯してゐたが、當時吉黑兩省の森林に巢喰ふてゐた馬賊は間斷なく長春に來襲し、白晝隊伍を整へて或ひは銀行を襲ひ或ひは個人商店を襲ふて市民はまだまだ不安に怖ひえてゐる折柄とて、長春市民會ではこれが對策を講ずるため八月十一日夜記念館に幹事會を開き十五日長春座で獨立守備隊引揚反對の市民大會を開くことゝし、同時に更にこれを一層効果的にするため沿線各地と同一行動をとるべく十二日「守備兵引揚反對のため來る十五日市民大會を開く貴地においても同一行動をとられんことを望む」といふ電報を各地の團体に發した

市民大會にさきだつて十三日夜記念館で委員總會を催し、大會の順序その他を協議しこのころから市中の撤兵反對の聲は最高潮に達し市内はよるとさわるとこの話でもちきりの有樣、いよいよ十五日は來た、會場である長春座の前や日本橋通りの角には守備隊撤退反對市民大會と認めた十數尺の立看板がたてられ、行き交ふ人々の面々は憂色に包まれて市中はそこ氣味惡いまでに緊張してゐる開會前宣傳係は氣勢をそへるため撤兵反對市民大會などゝ大書した旗をつけた自動車四台に分乘し宣傳ビラを撒布しながら市中を馳驅する、車上で間斷なく打ちならす鐘は悲痛な色音をたてゝいかにも居留民が一歩々々と危急に臨みつゝあるを知らすにふさわしいものであつた、晝間の會合とて人の出足が氣づかはれんでもなかつたがさすがに身に降りかゝつた火の粉である、人事ではない、定刻の午後一時には既に立錐の余地もないまでに押しよせ、時の長春市民會長出原稔氏は萬雷のやうな拍手にむかへられながら壇上にたつて開會の辭を述べ、次いで阿川甲一、吉田廣盛、有川藤吉、清水末一、香取仙英、得丸助太郎の諸氏が交々たつて撤兵の反對理由を力說左記決議文を朗讀滿場一致これを可決して閉會した

決議

滿洲守備隊の撤廢は吾人同胞の生命財產を危險に瀕せしむ依つて吾人はこれに反對しその目的の貫徹を期す

▽…暫時休載致します

安東沙河鎭行き 救恤品復舊 材料運賃

【大連國通】安東及沙河鎭水害罹災救恤用寄贈品及び復舊建築材料に對し左の如く運賃の減免を爲す事となり、廿二日の社報を以て發表された

一、品名　(甲)罹災者救恤寄贈品　(乙)復舊建築材料
二、發驛　社及連絡各驛
三、着驛　安東沙河鎭兩驛
四、扱別　(甲)小荷物扱ひ　(乙)貨物扱ひ
五、社線內運賃　(甲)無賃　(乙)五割減
六、期間　昭和九年九月廿日より昭和九年十月廿日まで

東方旅行社 業務順調
平山副經理談

【奉天國通】東方旅行社副經理平山眞齊氏は總局其他と事務打合せのため二十四日朝來奉したが語る

東方旅行社の業務は豫想以上に進展しもう大丈夫と云ふ域に迄到達した、直通列車爆破陰謀とか種々のデマが飛んでゐる樣だがそんなものは問題じやあない、始めは言語の不通といろいろの事が關係して双方の空氣が丸く行かなかつたが現在ではしつくり行つてゐる山海關驛も目下增築工事中で近く竣工することになつてゐる、東方旅行社の新らしい計畫と云つたものは未だない當分は基礎維持時代だから云々

吉林魚菜市場 日滿合辨と 方針決定

【吉林國通】既報の如く吉林魚菜市場は日滿合辨方針に決定したので來る廿九日滿鐵事務所に於て日滿兩國側委員參集、市場設立懇談會を開催、具体的意見の交換を行ふことになつたが、尚當日は市場問題の權威奉天滿鐵事務所より吉田一郎平氏も來吉出席の筈である

滿洲國有力 實業家團
日本商工業界 實情を視察

【東京國通】廿三日日滿實業協會への情報に依れば滿洲國の代表的實業家約卅名は十月下旬乃至十一月上旬頃來朝、日本商工業界の實情を視察すると共に滿洲國の五個年經濟計畫が昭和十一年完成されるを機として大博覽會が開催される事になつて居るため之が打合せをも行ふ筈であると

吉林の養蜂講習 盛會

【吉林國通】既報吉林に於ける養蜂講習所は廿三、四兩日民會樓上に於て開催されたが德田博士指導の下に主催、滿鐵側は勿論滿洲國各機關其他よりの聽講多數あり盛會であつた

東亞の天地（長篇小說）
作 森嘉吉　畫 川路慶太郎

三 赤化の暴威（二）

數日を經て、是川恭三は乘つた馬車が、ボクラニーチナヤの町に着いた。是川も馭者も、くたくたになるほど身体が疲勞した。

その馬車の先頭に立つた十數騎の赤色騎兵の隊長が、

「此方へ來い！」

と、案内して行つた。

是川は、ゲー、ペー、ウーの駐日代表スヴエラチエフスキーからの書狀をこの監視隊の一行に、素早くみせたので、難を逃れたのであつた。

大きな兵舍の前まで來ると、赤い髯を垂らした別の隊長が、

「同志！」と、出迎えた。

その言葉を聞くと、是川は、一種の魅力を感じた。言葉の中に、同志愛が籠もつて、建設の意に、愈々奮闘しなければ憩まない熾烈な感情を呼び起される氣がした。

隊長は、是川と馭者に、

「兵舍の事だから、なにもないが。」

と、云ひながら、マヨネーズを振り掛けた河魚の蒸煮と、野菜のスープと、黒パンを御馳走した。

「酒を飲むなら、ウオツカと、葡萄酒がある。勝手に注ぎたまへ」

「僕は、酒を好みません」

約束ない國語で、答へた。

是川の名は、日本に於ける共產黨幹部の一人として、ゲー・ペー・ウーの國境監視隊の連中にまで知られてゐたが、滿洲國人の老馭者は、名もない男であつたし、まして共產主義者ではなかつた。

隊長は、その老馭者に、匆々歸國命令を下した。

「旦那——さよなら、皆さん、さよなら」

老馭者はへとへとに疲れた馬に、皮鞭を加へて、走り去つた。

（國境の部落まで、また數日もかゝるのか）

國境線の山道を通るとき、カラ松の落葉に、身を打たれながら、呟いた。

その邊りの恐怖と戰慄は、國境監視隊の不意打の銃砲と、それから猛獸の出沒とであつた。

「どうぞ、虎さまが出んやうに願ひますぞ」

老馭者は、運命の我が家に還し妻子の事を思ひ出しながら、心に念じた。

ダッダアーン、銃砲の音だ。

「あつ——、國境監視隊の襲擊だぞ、白系露人の逃走かも知れぬぞ、危い、危い」

と、叫んで、ぜんまいの運動のやうに、烈しく、鞭を加へた。

ダアーン、

と、響いた。

續いて、ポーン、

と、高く、天に、林に響きわたつた。

老馭者が、あつと叫んで、倒れたのはその音と同時であつた。

五騎ほどの國境監視隊が、林の中から、出てきて馬車の周圍をとり卷きながら、

「滿洲國人に、わがボクラニーチナヤの狀況を見られた以上、生還させることは出來ない。これも不正入國者の一人だ。當然の處刑だ」

一人がさう囁くと、

「こういふ奴が、忠義顔に、地勢と森林の狀態を、報告するんだ。ざまアみろ」

と、誰かゞ答えた。

一隊は馬車を叩き毀つてしまふと、やせ馬を荒原に放逐した。

その走つて行くやせ馬をみて、

「いゝ標的だ」

と、けしかけると、

「射つてみやうか」

一人が狙ひを定めた。そして彈を放した。遠くの荒原で、やせ馬がばつたり倒れた。高らかな哄笑が原野の一角から擧がつた。

華府條約廢棄通告　軟論を廢し即刻斷行

全實施部隊將士海相に建言　國論統一を强調

【東京國通】豫備會商を前にワシントン條約廢棄通告への政府の態度は會商派遣の山本少將出發さへも確定せるに、未だ決せられざる現狀に鑑み、海軍全實施部隊將士一同は聯合艦隊の横須賀入港と同時に海軍省、軍令部の中堅將校と協議の結果、軟論を排して廢棄通告即時斷行、次期軍縮への帝國の態度を宣明して、國論を統一すべしとの意見を所屬長官を通じて大角海相に建言するに決定した

ソ聯の抗議に　陸軍側は重大視せず

あくまで事實問題で解決

【東京國通】北鐵從業員逮捕事件に對するソ聯政府の抗議につき我陸軍では左の如き見解の下にあまり重視せず外務省と協力してあく迄事實問題によつてこれが反駁其他の措置を講ずる方針である

一、北鐵從業員逮捕の理由は去る三月以來北鐵列車（主として軍用列車）運行阻害頻發の根據は十九名の北鐵從業員にあるといふ幾多の事實が判明したので、滿洲國が檢擧したのである

二、右逮捕の時機が北鐵讓渡交渉決裂期と一致したのは全く偶然の事で逮捕と讓渡交渉は全然別個の問題である

三、赤衞軍が北鐵從業員を使嗾せる事は、逮捕せる從業員の自供によつて明確である

右三點よりしても如何にソ國の作爲的宣傳が巧妙であるかと窺はれやう、然し我陸軍としてはあく迄事實問題によつて解決を期するのが至當であると觀てゐる

東部線爆破容疑者　取調べ内容

【東京國通】最近滿洲國内の北鐵東部線列車顚覆事件の頻發或は反滿抗日の陰謀に關し廿三日確實なる筋への情報によれば曩きに滿洲檢察當局が檢擧したソ聯北鐵從業員の取調べ進捗に伴ひ、彼等の自白によつてソ聯若しくは共産黨員が堂々コミンテルンの指導精神に立脚して滿洲國の機構を破壞せんとする計畫的陰謀ある事が暴露するに至つた即ち昭和七年九月始めモスクワに於るコミンテルン執行委員會で決定された世界各國共産黨の使命及び之に對する指導方針によれば、目下經濟危機にあつて資本主義は安定を缺くため階級國家間の衝突は接近したから此の際各國共産黨は帝國主義反對に關する從來のコミンテルンの決定を忠實に實行すべしと言ふにあつて、右の方針を各國共産黨員に別々に指令を與へてゐる、日本共産黨に對しては

一、反戰運動及び支那領土の掠奪に對する反對運動を（滿洲國を指す）生活改善運動に結び付け同時に勞農階級の大衆運動を爲す事

の一項があるが他方支那共産黨に對するテーゼ中には滿洲に於ける日本及滿洲國反對運動を擴大强化すべしとし

一、支那ソヴィエート區の發達助成紅軍の强化に努むべし

一、國民政府を打倒すべし

一、滿洲では人民委員會を組織し税金、石油、帝國主義代辨者の財産沒收、人民政府の選擧をスローガンに滿洲にパルチザン的運動を展開すべし

一、支那ソヴィエート區の反映を一般に宣傳し同地區民衆とソ聯勞働者の同胞的團結を企劃すべし

云々とあり支那共産黨を煽動する一方滿洲國内の同黨員に積極的に働きかけ反滿抗日運動に拍車をかけてゐることは火を見るよりも明らかで帝國政府は勿論滿洲國政府もこれ等分子の徹底的掃蕩を企圖し斷乎たる決意を有して居り北鐵交渉停頓の折柄成行きを關心してゐる

ルデー局長　一方的に被檢擧人の後任任命

滿洲國極度に憤慨

【ハルビン國通】滿洲國官憲が北鐵列車事件の犯人として赤系の從業員を檢擧するや北鐵管理局長ルデー氏は又復獨斷的に其後任を任命したので滿洲國側はソ聯側の一方的行爲に極度に憤慨してゐる

米國々立通信社を設立

嚴重取締る

【ワシントン廿三日發國通】ミネアポリス選出上院議員トーマス、デエイシャル氏は二十三日ラヂオ放送で既報の如く新通信社設立計畫に言及左の如く述べた

現在米國内には外國の間諜と見られる外國政府並に新聞社代表約三萬七千名が居る、予は之等外人の嚴重取締りを加へる爲來議會に新聞取締り法案を提出する豫定だ、右法案には更に政府機關たる新聞通信社の設定案も包含される事とならう

此の通信社はソ聯のタス、佛のアバス、伊のステファニの各通信社と同様一般通信社の通信を補充し、且つ政府派の諸新聞にニュースを供給するものだ、ブレーントラストは目下右政府機關通信社の設立案を起草中である

鐵道建設を機會に　邦人を植民せよ

國都建設計畫は小さ過ぎる

壁經平氏縱横談（二）

新京では民間商工業者の進展振りが目立つてゐる、新京より早く都市建設に着手した南京に於ては中山路が僅かに出來上つただけでその兩側に鐵道部、高等法院、交通部、外交部などの官廳が五、六棟建てられたばかりで又上海に於ても市政府の一部が完成されたに過ぎないが、新京ではどしどしと各新官廳並に會社の建物が打ち建てられてゆく、日本人による建設は急速力だ

然し考慮しなければならないことはこれら各都市に日本人を如何に植付るかといふ方法が最重要な問題である

▼……▲

それには徳川家康が江戸建設當時に採つた方法又黒田清隆が北海道開拓の際に行つた方法から歸納して、大事業をするには俗理的な計算では駄目だ、一種の奇智とか頓智とかによらねば困難であることを感じさせられる、即ち建設の状況をみると費用の大部分は勞銀である、而もその勞働者は殆ど支那人であつて、建設費は内地に比較して決して高價ではない、日本の農村救濟に道路建設を行つたことは新京の建設とは同一視さるべきでない、建設費が勞銀として流れてゐる結果をみると山東苦力と山東商人救濟になつてしまつてゐる、而して山東苦力の持ち去つた滿洲國の金は金輪際滿洲へ戻つて來ない、これによつて考へてみるとこゝに日本人を植付けるといふ事に就いての何等かの對策が生れなければならないと思ふ

▼……▲

在滿各機關要路の植民に關する意見をたゞくと大抵は「文化の高い所から文化の低い所への移民は困難である、匪害性の問題が移民の發展を阻害してゐる」と述べてゐる、而して台灣、朝鮮の移民が不成功に終つたことを引用して滿洲移民に對する悲觀論が多くこれに對する積極的意見を聽かない、悲しむべき事だと思ふ、高い文化を有する國民を低い文化の國へ移民することは困難ではあるが而も日本人を滿洲へ植民することは絶對的に必要なことであるから不可能なことを論議するよりも可能な方法を研究することが望ましい、台灣、朝鮮にしても先住民族が相當在住してゐて飽和狀態に近づいてゐるので移民は大体無理であつた滿洲においても從來の様な邊疆の地への移民は必要ではあるが、鐵道沿線建設の機會を利用して日本人を植民することは移民を急速に成功せしむる手段であり又効果的であつて而も農業移民促進にも有効である、滿洲における都市移民と農業移民は不可分の關係にある、知識は生きてゐる中に使用しなければならない

▼……▲

新らしい大事業をするには金を惜んでは駄目だ、優良植物を培養するには雜草を刈らねばならない、又可なりの手數をかけねばならない、文化の高い人間は文化の低い所へ行けないといふ事を假定して優良植物である日本人に對しては手を加へ補助しなければならないのは論ずる必要もあるまい

石崎、川澄の兩氏は　赤兵の毒手に殪れたか

捜査隊からの報告來る！

【ハイラル國通】去る七日ボイル湖附近で理不盡な赤兵の爲拉致され未だ消息不明の石崎、川澄兩氏に就て二十三日夕捜索隊よりの報告によれば新巴爾虎左翼旗より先發した精悍な蒙古人自警團員が十八日より八方手を盡し捜索の結果、廿日午後に至り漸くボイル湖の西部國境線ハイチジームドーロの手前約五丁の地點に無慘に蹴散らされた一行の宿營用テントと羊肉、パン等多量の食料品を發見したが敷物類、儀銃彈等も赤兵の不意討を語り顔にその儘其處此處に取殘されて居り現場には地面を發掘した跡が多數認められ一行にからまる探金のなぞも滿更虚言では無いらしい、尚は自警團員はその先の足跡を捜査中突如外蒙騎兵三名が一行を目指して突進して來た爲め衝突を恐れ引返したものであるが同地帶一般に日本人と見れば射殺せよとの流言頻りの折柄前記二邦人は同行の滿人一名と共に赤衞軍の毒手の犧牲となつたものと思はれ安否は殆んど絶望視されてゐる

邦人課税問題に　奉天商議も反對決議

近く會頭駐滿大使館に陳情

【奉天國通】在留邦人の課税問題に關し奉天商工會議所は廿四日午後三時より緊急議員會を開き種々協議する所あつたが絶對反對に決し左の如き決議をなし散會した、會頭が新京に赴き駐滿大使館に向つて陳情する事となつた

決議文

滿洲國の現狀に於て治外法權撤廢は時期尚早と信ず、而るところ近來治外法權の漸次的撤廢の一法として我大使館に於ては在留邦人の課税問題を論議せられ、内々これが準備調査を始められつゝありと聞く

而るに在滿日本人の事業及ひ投資は多年滿洲國運發展の要求に應ずるものとして特に祖國の負擔を免れ一面條約上の特權たる在留民の免税を基調とし企劃經營し辛ふじて其の成績を維持しつゝある者多く、滿洲建國と共に國家完成の經過に從ひ地域的、部分的等に於て漸次滿洲國の獨立發展を促進助成するの方策を進むる事を辭するものに非ざるも之が方法實行の時期と程度に就いても最も愼重なる考慮を要するものと信ず、若し近時傳ふるが如き過重なる税率を劃一的に承認して其の負擔に急激なる變化を來すが如き事あらば多年培養せられたる日本人の事業は一朝にして根底より破壞せられ、滿洲建國は遂に日本人を驅つて滿洲より放逐する結果となるべきを憂慮す、依つて將來萬一幾分の負擔を課せらるの餘儀なき場合に於ても豫め各地商工團体に諮問せられ充分にその意見を尊重せらるべきものと信ずるにつき日本當局は宜敷くこの重大なる影響を認識して最も愼重に考慮せられんことを希望す

右本所議員會の決議に依り陳情候也

尚右決議文は岡田首相を始め外務、拓務、陸軍、海軍各省樞密院、貴衆兩院、關東軍司令部、駐滿大使館、關東廳、奉天總領事館にも傳達陳情することとなつた

軍將兵の活動で　治安確保された北滿概況（十一）

◇沿革

前淸時代には御料獵地として開えた、附近一帶は有名なる北滿特産の豐庫とて民國十二年呼海鐵道の開通により一躍特産物集散地として其の經濟的重要性を獲得した、事變後馬占山は逃れて、一時此處に據り我が軍使と會見して歸順交渉を行つた地、人口約四萬邦人の居住は百五十名内外主として商業に從事す

六、治安維持の情況

1第一、二期に於ける概況

イ、治安維持會組織の概況

建國直後に於ける滿洲國の政治及治安維持機構は多年の軍閥政治に腐敗墮落して民心全く離れ、之を仇敵視するの狀況にあり敢然起つて弊政を改め之等諸機構を廓正罩化し以て生民をして各々其堵に安んぜしむるに非れば省治の刷新は眞に百年河淸を待つに等しきものがあつた

茲に於て關東軍は昭和八年七月多大の犧牲を忍んで分散配置を取り、日本軍地區司令官統制の下に日滿兩軍の各機關相協力して匪賊を剿滅すると共に、滿洲國治安維持機關の罩化を圖り以て滿洲國永遠不動の國礎を築かんとし治安維持會の創立を見るに至つた、即ち昭和八年六月十日新京に中央治安維持會設立せられ同月十三日『昭和八年夏期に於ける治安維持の爲め統制指導に關する特別規程』が制定せられた、該規定は夏期高粱繁茂期及其前後に於ける治安維持の協同動作を圓滑ならしむる爲め關東軍、滿洲國其他關係機關の間に於ける連絡及統制關係を規定せるものであつて、治安維持に關する主要事項（日本帝國軍隊統帥關係事項を除く）を統制指導する爲め中央に中央治安維持會、各省に省治安維持會、各縣に縣治安維持會を設け、關東軍司令官は中央治安維持會を、關東軍警備司令官たる○團長は省治安維持會を區處し、地區警備隊長たる軍隊指揮官は縣治安維持會を指導し、關東軍地區司令官たる軍隊指揮官は其の擔任警備地區内に於ける關係諸官を統制區處し、且必要に應じ治安維持會（又は之に準ずるもの）を設くる事が出來る如く定められた

ロ、工作の重點

關東軍の分散配置期間を概ね昭和八年十月迄と豫定し此間日滿兩機關は統制ある指導下に相協力して匪賊の剿滅を期すると共に滿洲國側治安維持機關の罩化を策し、軍の分散配置撤收後に於ける治安に動搖を來さゞる樣諸準備を完了し特に人心の安定策を講ずる事に努むる中央の方針に從ひ着々諸工作を實施し十月末迄に其の一部事業を完成したが他に幾多重要なる工作を殘し此際日本軍が分散配置を撤し治安維持會の業務を滿洲國軍憲に委任するは功を一簣に毀く虞れがあつたので、更に昭和九年三月迄引續き治安維持會を存續し昭知八年十月迄を第一期、昭和九年二月迄を第二期と稱した

宇佐美顧問　きのふ東上

宇佐美滿洲國顧問は廿四日午後四時卅分發列車で約四週間の豫定を以て東京に赴いた

齋藤佐藤兩大使　六日東京發滿洲視察

【東京國通】齋藤、佐藤兩大使は九月六日東京發滿洲視察旅行の途に上る事となつた、歸途南京にも廻り蔣介石氏外要人と會見するやも知れず

野田文一郎氏來滿

【大連國通】代議士野田文一郎氏は視察の爲廿四日朝入港のうらる丸で來連約三週間滯滿の豫定である

輝南縣第三區に紅軍來襲　掠奪放火

【奉天國通】廿三日午前三時頃輝南縣第三區樓街に紅軍數十名來襲、帶信電話線等連絡機關全部切斷の後更に民家に放火、掠奪を恣にし反滿宣傳文を撒布逃走したが發に民家は百六十一戸燒却された

その日く

治法撤廢、課税問題で全滿的反對運動熾烈大局を見極めてかゝること

□

九、一八記念行事決まる、お祭り騷ぎに終らぬやう切望

□

東商業校長、教育界から去ると語る、權謀と術策は何處の世界にもあり

□

〔illegible〕派聯合、全滿精神運動を起す、あくまで日本的〔illegible〕れ

□

同じところで二人續けて慘死企て、死人の靈が祟つたらいと……

人事往來

刑士廉氏（新京地區警備司令官）二十四日午後三時二十五分着　門から

深井直一氏（滿洲里國境警察隊長）同上滿洲里から

宇佐美勝夫氏（滿洲國顧問）二十四日午後四時三十分發東京へ

東一郎氏新京（商業學校長）二十四日午後七時三十分着大連から

森岡正平氏（吉林總領事）同上大連から

廣瀨豐作氏（大藏省文書課長）二十五日午前十一時飛行機で來京、ヤマトホテル兩三日滯在の豫定

染谷保藏氏（本社代表盛京時報社長）二十四日午後十一時發列車で歸奉

團体

福井市立商業學生三十六名二十五日午後九時三十分來京吉林から富士屋投宿二十六日午前十一時卅分發〔illegible〕行

台灣鐵道局庭球軍二十名二十五日午前七時來京二十六日午前八時三十分發哈市へ廿七日午後三時廿五分歸京同日午後四時三十分發南行

岐阜縣教育會五名二十七日午後九時三十分來京大和旅館投宿二十九日午前八時三十分發哈市へ

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　二〇片一六分九
同　先物　二〇片一六分九
紐育銀塊　四九仙八分五
孟買銀塊　休會
米英爲替　五弗〇四仙〇分〇
米日爲替　三〇弗〇三仙
米支爲替　三〇弗三〇仙
スチール株　〔illegible〕
アナコンダ株　〔illegible〕

米　棉　現物・十月・十二月・一月・三月・五月・七月限　〔illegible〕

▲上海標金　〔illegible〕

▲上海日本向　〔illegible〕

▲上海倫敦向　〔illegible〕

▲上海紐育向　〔illegible〕

各地市場

▲大連金鈔票　〔illegible〕

▲大連上海向　〔illegible〕

▲大連煙台向　〔illegible〕

▲阪神日米爲替　〔illegible〕

▲大阪株式　〔illegible〕

▲同　短期　〔illegible〕

▲大連株式　〔illegible〕

▲大阪三品　〔illegible〕

▲大阪棉花　〔illegible〕

▲大阪期米　〔illegible〕

▲仁川期米　〔illegible〕

▲神戸豆粕　〔illegible〕

▲横濱生糸　〔illegible〕

▲大連特産　〔illegible〕

新京市況

〔illegible〕

新進軍の出場で更らに興味は津々
本社主催排球選手權大會 愈よ明日に迫る！

全新京に於ける体育ボール熱に鑑みて、本社では昨年八月全新京排球選手權大會を開催したところ最初の試みに拘らず、意外の好評を博したが、その第二回はいよいよ明二十六日午前九時から西廣場小學校々庭で盛大に開催されるはずである、本年の參加チームは日滿各機關を合して十一チーム最初少くも三組ばかり出場されるものと豫想されてゐた學校チームが生憎奉天に於ける教員大會のために出場不可能になつたのと强豪鐵道軍も同樣の理由で出場出來なくなつたのは誠に遺憾であるがそれでも前回に劣らぬ盛況であり、しかも本年は滿洲國から國務院主計處、文教部新聲會および中央銀行の三チームが參加することになつたのは新興滿洲國のために萬丈の氣を吐くものであらう、大會は午前九時選手一同入場國旗掲揚式があり、主催者を代表して本社十河總務の挨拶があつていよいよ第一回戰の機關區對地方事務所B組および中央銀行對文教部新聲會によつて兩面コート同時にはなばなしく競技が開始されるはずである、第二回戰を終つて一旦休憩、午後は引續き第三回戰について最後の優勝戰を行ひ午後四時すぎ散會の豫定

昨日のルンペン「今日の成金」
彩票一萬圓當籤幸運の人々

第五回福民奬券頭彩甲組（新京三泰號代賣にかゝる）は大連に流れ此福運の當選は大連市內ペンキ屋獨身店員川端八五郎（二五才）と其友人無職の高橋一郎（二七才）田添本市（二九才）野村清平（二四才）の四人共同購入の

＝奬券＝である、川端君はペンキ屋店員として十年前渡滿、現在まで實直に同店に働いてゐる者であるが、彼氏頗る籤運强き男で大連の競馬ガラ等にも數回當籤、既に千數百圓を獲得してゐる幸運兒、今回の一萬圓も彼が其番號を選定したものである、他の三名は本年六月末滿洲景氣に憧れ、共に大望を抱いて渡滿したが滿洲も決して夢の如き樂天地ではなくルンペンとしてドヤ宿屋に轉々としてゐる中前記川端君と麻雀友達となり今回なけなしの金をはたいて四人共同で買求めた奬券が圖らずも一萬圓の福運、正に昨日のルンペンは今日の成金、流石は夢に描きし滿洲なりと捲土重來の意氣に燃え廿二日早速得彩金を受領、それぞれ分配金を懷にし此ルンペン三名は歸國し堅實なる仕事に就くべく更始一新した模樣である、乙組の一萬圓も同じく新京三泰號の代賣で新京市內某煖房裝置請負業者店員阿部三男君他數名共同にて店より借金して二枚買つたものの一枚が當選した、同君等は當選番號發表されて數日後自分等購入の番號が頭彩に甚だ似合つてゐるといふので些細に調べて見ると果然其中の一枚が頭彩乙組であつたといふ夢のやうな話、飛上る程

＝驚喜＝して阿部君代表者となつて去る二十一日早速受領手續をなし二十二日得彩金を受取つた、元來資本金二圓も店から借金したもので店全部でそれぞれ分配したといふ話である

今後永久に教育界から引退
辭職した東新京商業校長歸る

囂然たる世評に直面して遂に辭意を決した新京商業學校東校長は、廿二日大連本社へ赴き、學務課長に辭表提出廿四日午後七時半着列車で歸京した、思ひなしか面やつれした東校長は、雜踏するホームで語る

今度の出來事は全く私の不德の致す處で何とも申譯ないと思つて居ます、私は固く辭意を決したのですから假令教職員一同の御同情ある慰留があつても此際斷然やめます

他の學校に轉任されるやとの問に對しても

私はこれ限り教育界を去り今後他の方面に更生の道を求めるつもりです

と語つた

滿露國境を探る（十）
阿片に明け阿片に暮る、饒河虎林の町
密輸秘話と亡命哀話

沿海の密輸

窮乏ソ聯の實情を物語る荒廢しきつた村を幾つも過ぎ、滿領海靑鎭に差懸つた頃、一隻の監視船が追つかけて來た、五十米程に接近したかと思ふと、又三百米程に離れまるで海のフカか鮫のやうにしつこい、望遠鏡で見ると相變らず嚴めしい格好のゲペウが、これも望遠鏡を放さずこちらを凝視してゐる、漸く物々しいソ聯の軍備になれた私の眼には、ゲペウの存在か國境の道化者のやうに見へて來たホール河の水がウスリー江に注ぐあたりから川幅がぐつと縮まり、三、四百米の所が所々にあるので種々なトラブルが釀し出される、海靑鎭では沿岸密輸の話を聞いた、こゝは矢張り河幅がせまいので、多などは兩國人が氷を割つて漁獲をやりながら朝晩の挨拶は勿論の事、お互ひに官憲の眼をぬすんでソ聯側から石油、マツチ、鹽の供給を受けたり、又滿洲側が米や蜂蜜を供給したりするそうである、この外に大仕掛けな密輸をやる專門の密輸業者が居る、彼等は夏は沿岸のきまつた地點に船を着け、向ふから出て來る同業者に商品に渡し、代金を受取り、或は物々交換をやり、多は氷上を密輸品を車につんで對岸に渡り、時には二里も三里も入つて行く事がある之等に對するゲペウの取締りは表面峻嚴を裝つてゐるもの〻、裏には裏があるもので、密輸業者は要所要所に鼻藥を利かして居り、商賣には少しも支障無く、ソ聯側より寧ろ最近では滿洲側が仕事がやりにくいそうである商品の主なるものは滿洲國は特產の阿片、米、蜂蜜等で、ソ聯側は鹽、石油、マツチ、綿布、菓子類等である、密輸に使用する貨幣は最近では國幣がソ聯に通用してゐると聞いて驚いた、ソ聯の貨幣も滿洲國に若干來てはゐるが官憲が非常にやかましいので、最近ではめつきり減つて、なる可く物品で受取るやうにしてゐる而してこの邊の密輸は物資の缺亡といふ純經濟的理由からで、滿洲國側商務會あたりでは住民が生きて行く上に止むを得ぬと言つてゐる、中には

「官憲がこれ以上やかましく云ふのであつたら、こゝまで鐵道を敷いて與れ」

等といふ者があるといふので私を苦笑させた

然し密輸品の中で特殊なものは阿片で之は純經濟的理由に基くものでなく、ソ聯を通じ上海方面に輸出され、沿岸地方だけで密輸額百萬圓を突破してゐると聞いて驚かされたこの邊一帶が阿片の町、密輸の町と總稱されるのも之に基因するのであらう（寫眞はアムール河を流る〻二キロ余の大筏）

思出の午後十時！全市民が默禱
事變三周年記念計畫決る
記念祭その他數々の催し

思出は深し九月十八日！吾等に取つて忘れんとして忘れることの出來ない滿洲事變もはや滿三周年を迎へることになつた、この日滿洲國の國都新京では如何に當日を有意義に迎へるかにつき、二十五日午前十時から地方事務所長室で各關係當局者および一般代表の打合が開かれたが、出席者は地方事務所、總領事館、關東軍、在鄉軍人會、警察署、地方委員、區長、協和會の各代表者その他で大体左の通り決定した

一、十八日午前十時新京神社で記念祭を擧行（新京時局後援會主催）

一、當日は各戶に日滿兩國旗を掲揚すること

一、自動車、馬車、人力車その他にも國旗を掲揚すること

一、記念スタンプを各關係者で捺印に應ずる事

一、記念講演並に映畫會を午後七時から新京神社で開催る（新京時局後援會主催）

一、ラヂオ放送

一、南嶺、寬城子の戰蹟に市民代表から花環を捧げる事

一、新京衛戍病院を慰問すること

一、午後十時、全市民一齊に三十秒間の默禱すること

一、同時に電燈を明滅し、汽笛、サイレンを一齊に鳴らすこと

一、その間車馬その他も一切停止

一、講演映畫會の間、花火を打揚げること

傷病事故防止標語
應募者四百突破か
廿七日審査の結果を發表

新京鐵道事務所ではさる十五日から職務傷病事故防止標語の募集を行ひ二十五日で締切る

＝豫定＝で同日正午まで三百九十六票の多數で今夕までには四百を悠に突破する模樣である、應募者の九割までは鐵道關係者で遠くは鐵嶺方面からの應募者も相當數あつた、中には短句でよく現れた標語もあり、都々逸、鴨綠江節、お原節など隨分ふるつたものもある、市內側の應募に『雨は天から涙は目からけがは其の身のオヘラ……油斷から』その他『酒や女で寢不足すれば公傷事故は免かれぬ』『アッと言ふ瞬間身は二ッ』等々

＝審査＝は芳賀鐵道事務所長が審査委員長になり、中山、野村、鹽川、松尾の四係長が委員となつて二十七日午前九時から所長室で審査の結果發表の豫定

圖們李樹溝間 一日から開通

圖寧線（圖們安寧間）中の圖們、李樹溝間百十五、四キロメートルはいよいよ九月一日から假營業を開始することになつた、圖們、李樹溝間の旅客運賃は二等が五圓三十錢、三等が三圓五十錢 貨物運賃は一車扱ひ一キロトンに付き五圓八十錢、小口扱ひ百キログラムにつき八十一錢二厘と決定した（國幣建）

發着時刻

圖寧線は九月一日から假營業を開始するが、圖們、李樹溝間の列車發着時刻は左の通り

△上り第二列車（混合）李樹溝發午前八時十五分圖們着午後一時三分

△下り第一列車（混合）圖們發午前十時李樹溝着午後三時十五分

野村芳亭氏死去

【東京國通】松竹蒲田撮影所の名監督野村芳亭氏は腦溢血で療養中のところ廿三日午後十時十分遂に逝去した

東部貨物列車 またも匪襲

【ハルビン國通】廿三日午前十一時三十分頃北鐵東部線二層子阿城中間を進行中の一面坡發ハルビン行第九十二號貨物列車は突如系統不明の匪賊約四十名の襲撃を受け急停車したが及ばず匪賊は同貨物列車に乘込み掠奪乘務員ロシア人クズネツオフ並にタルノフスキーの兩名を拉致逃走した

岩永虎林副參事 慘殺体發見

【ハルビン國通】去る十四日夜の密山號襲撃事件の際匪賊に拉致された虎林縣岩永副參事官の行方に就いては日滿官憲協力して鋭意捜査中であつたが廿四日寶縣木谷參事官より當地民政部辦事處入電に依れば寶縣阿城縣の境克圖北方十五滿里に慘殺埋沒しあるを發見遺骨を收容の爲廿四日當地より村上吉林省屬官が現地に急行した

廣瀨大藏省文書課長來京視察

大藏省文書課長廣瀨豐作氏は事務官岡崎稔氏を伴ひ二十四日雄基に上陸南陽、圖們、敦化の各地を視察の上二十七日午後四時來京、二十八、二十九、三十日の三日間滯京視察をする予定

自轉車の盜難被害者へ

去る十八日新京署井上刑事に檢擧された自轉車專門泥棒城內裏四馬路九號前科二犯張祥（三二）の取調べの結果窃取した自轉車十台が發見されたがその內七月二十日午後三時ごろ梅ケ枝町四ノ八番地先路上で窃取した自轉車一台、同月二十八日午後三時ごろ千島町三丁目グラウンド裏で窃取したもの、八月三、四日午後四時ごろ祝町二丁目十番地先路上で窃取した自轉車一台の被害者が判明しないが心當りの者は至急新京署司法係へ屆けられたいと

關大大勝 5A—0 對大連實業

【大連國通】關西大學對大連實業第二回野球戰は廿四日午後四時十五分より實業グラウンドにて山口（球）長澤、孫（壘）三氏審判の下に實業先攻で開始、五A對零で關大勝つ、閉戰六時十九分

△バツテリー 關大 北井—北浦 實業 岩瀨—渡邊

△スコアー

關大 0 2 1 0 1 0 1 0 A

實業 0 0 0 0 0 0 0 0 0

0—A5

街の日記

プランタン 增築完成披露

新京ダイヤ街に於るカフエー界の草分株プランタン開業以來好人氣で文字通りの千客萬來遂にホール狹隘を告げ過般來大增築中であつたが晝夜兼行を以て此程見事完成し愈々明二十六日增築披露華々しく開業の運びとなつた、階下ホールは擴張見事の出來榮殊に東京及大阪より新進女給十餘名來援純內地式サービスで御接待とあり前に倍し殷盛を見るであろう

門田警部 着任挨拶に來社

長春警察署衛生主任を命ぜられ來京した門田實警部は二十五日就任挨拶に來社

祝町西本願寺て 佛教講演會

市內祝町西本願寺では目下沿線各地を巡錫中の京都龍谷大學々長花田凌雲師を聘し二十七日午後七時から滿鐵地方事務所後援、同寺主催で講演會を催す、演題は「建國精神と大乘佛教」一般の參聽を希望すると

マラソン選手に 銀楯贈呈

二十五日協和會々議室に於て紀井協和會委員は會を代表し日本大學沼田、村上兩選手に對し紀念の銀楯を贈つた、兩選手は同日小林駐滿海軍司令官岡村關東軍參謀副長に面接挨拶を述べた、因に兩選手は來る二十七日午後四時發列車で大連に向ふ筈

日の出を拜する つどひ

二十六日（日曜日）朝四時五十分より西公園忠魂碑前にて（新京日出時刻四時五十五分）因に市民早起會は午前五時から

日本基督集會

一、日曜學校 午前八時半

二、朝拜 午前十時十五分 「カルヴインに就いて」 吉川牧師

三、傳道集會 午後八時 「我等何を爲すべきか」 西南學院高等學部 宮崎正旗氏

どなたでも御出席を歡迎致します

台灣庭球選手 新京を見學

台灣總督府交通局鐵道部副參事松浦信次氏を團長とする庭球選手一行二十余名は二十五日朝本社を訪問したが一行はバスで國都建設の實況を見學して廻つた

盜難屆

▲中央通四〇內田洋行內岡本金次氏は二十五日午前零時から同六時の間に自宅內で短靴一足を窃取された

▲尾上町七丁目二內田又平氏は二十四日午後七時から翌二十五日午前五時の間自宅裏倉庫內でコモ百枚時價十七圓を窃取された

▲羽衣町一ノ二大善三郎氏所有風呂ガマ一個時價三十圓を二十四日午前三時ごろ自宅裏倉庫內で窃取された

けふの銀相場

國幣對金票 一一一円七〇錢

國幣對鈔票 九三円三〇錢

金票對鈔票 一一九円六五錢

國幣對現大洋 九六円〇〇錢

新版 江戸八景 (上映權上) 行友李風原作 平伯二氏畫

一四四

江戸職人と吉原娼妓 二

高桑義生

『おほゝゝ珍らしいこと。それで氣が晴れるなら彈きもしませうけれども……』

といふのを、東兵衛は遮つて、

『おい止してくれ。一度いつたらわかる事つた。俺の氣性を知り拔いてるお前にも似合はねえ。人が折角頼むものを、嫌なら嫌で斷るがいいや。面白くもねえ。』

とさすがにあとは獨り言のやうに——

お葉は潤ぐむ目をしばたたいて立上がると、ところどころ崩れた處へ、紙を貼つてある古襖から三味線をおろして、もとの處へ坐つた。

そして袋から出して、默つて俯向いたまゝ調子をあはせた。

耳に、いつか眼を閉ぢてそれに聞惚れてゐた。

お葉は上の空で唄つてゐる。唄つてゐながらどうしても無心になる事が出來なかつた。さうしてみる間に或る考へをきめたのであつた。

唄が切れると、東兵衛も顔を上げて、

『ウムいいな。まつたくいいな——や、有難ちやねえか……』

今まで三味線や唄聲にまぎれてゐたが、いつか冬の雨がかすかな音を立てゝゐたのであつた。

お葉も耳を傾けて、

『おや、ほんにねえ。』

と三味線を置いた。そして長火鉢に細そりと白い手をさし延べたが、思ひ込んだ容子で、

『ねえお父さん、折入つて御願……。お願ひがあるんですがね。』

その言葉がこの時の胸の心にも何物にでも觸られるやうに強く響くのであつた。

(素面の、眠ればそよと起こされて、みだれそめにし浦里が、どうした縁でかの人に、逢うた初手から可愛さが身にしみじみと惚れぬいて、堪へ情なきちかしさ、人目の關の夜着のうち明けてくやしきびんの髮、撫であげあげ……)

生れつき美しいお葉の聲も、その夜は何となく冴えなかつた。けれどもそれがかへつて淋しく透る艶なく聞こえるのであつた。

そして唄の間々に隨ふ三味線の音も、しめやかなといふよりは陰氣に聞えた。

けれども東兵衛は、それを出してゐないのか、考へ込んだ顔を火鉢に伏せたまゝであつた。

娘のお米は使ひにでも行つたのか、臺所にはカタリとも音がしない。

そして仕事に所在なく胸を組んでゐた二人の弟子の、源助と千

え。』

東兵衛は(何か?)と云ふやうにその顔を見た。けれども目尻には先刻とは似ても似つかぬなごやかな表情が、あつた。

お葉はそれに、力を得て

『さあ』

と、口を切つたが、矢張り匠ふ事をすらすら言ふ事が、出來なかつた、で、やうやう

『お父さんは定めし、びづくりなさるでせうよ——斯ういふと表た姉なお顔をなさるかも知れませんが、その、仕事について何んですの』

東兵衛は、かういふお葉が何をいはうとするのかを讀むやうに、ぢつとその口元に目を注いだ。

さうなるとお葉は尚更いひ出しにくい。

『ねえお父さん、あたしはお父さんのお心のうちはよくわかつてる心算なんですよ、どうかして氣をかへてお仕事をなさらうと考へていらつしやるのか——』

—○—

日曜 八月二十六日 己巳 大安 收 房宿

●一白の人 平運にして從來の澁滯も次第に薄らぎて吉 丙と申と寅が吉

●二黒の人 自己の力も加はり他の力を添へられ喜あり 甲と丙と丁が吉

●三碧の人 焦躁すれば意外の失敗を招くに至る危險日 申と辛と寅が吉

●四綠の人 物事等閑となりて暗影を投ずる基となる日 丙と申と辛が吉

●五黄の人 口先より實行を旨とし勤勞を厭はざれば吉 巳と丙と丁が吉

●六白の人 堅實なる信念に依りて終始一貫の志有ば吉 甲と乙と巳が吉

●七赤の人 物事遲々として進まざれど焦れば却て不利 丙と丁と寅が吉

●八白の人 向ふ所敵なき如く勝利を博すべき幸運の日 巳と丙と丁が吉

●九紫の人 運氣沈滯す人の爲め足を掬はるゝ如き凶日 申と壬と癸が吉

大阪商船

門司、神戸(大阪行)

×印二三等船客設備船 ▲印慶良寄港 (午前十時大連出帆)

船名	日
▲香港丸	八月廿七日
×たこま丸	八月廿八日
うすりい丸	八月三十日
ばいかる丸	八月卅一日
×志あとる丸	九月二日
扶桑丸	九月三日
はるびん丸	九月・四日
亞米利加丸	九月五日
うらる丸	九月六日

切符發賣所

滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所

船車連絡切符(往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月)

大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月)

專屬荷扱所

各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店電話四一三七番 奉天出張所電話四〇八九番 新京出張所電話二二一六番

新京ヨリ京圖線ヲ通ジテ日本ニ行ク最捷路

滿洲行

港	
敦賀	毎二の日午二時發 / 毎六の日午二時發
清津	毎三日の午二時半着 / 毎八日の前十時着
羅津	毎三日の前十時發 / 毎八日の後六時發
雄基	毎三日の午六時着 / 毎八日の後九時發
浦汐	毎六の日前八時着

日鮮滿連絡船 滿洲丸 天草丸

日本行

港	
浦汐	毎〇の日 後三時發
雄基	毎六の日前九時發 / 毎一日の未明着
清津	毎六の日後四時發 / 毎一日の午二時着
敦賀	毎八の日前八時着 / 毎二の日後三時着

北日本汽船株式會社 清津雄基羅津代理店 國際運輸株式會社支店

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

全國境河川標識 本年度改善に着手
二ケ月の折衝遂に奏効？ 目下字句を審議

滿ソ水路會議 本月中に正式調印

滿ソ水路會議は非公式會議開催以來既に二ケ月、此の間卅餘回の公式、非公式會議を行つた結果、既に協定文の起草を終り目下議事錄の字句の點につき審議を行つてゐるが、滿ソ兩國委員の眞劍な努力に依り會議は極めて順調に進展し、月末迄には調印を行ふ運びとなつた　右協定調印後は直ちに滿洲國側ハルビン航政局並に新設されたハルビン航政局黑河分所、ソ聯側アムール國立水運局の代表に依つて共同技術委員會が組織され、本年度よりアムール、ウスリー、スンガチアの各河川及び興凱湖等滿ソ國境水路の全般に亘つて航路標識其他航行改善に伴ふ諸設備が施されるに決定した

ソ聯は眞面目
北鐵交渉停頓には關係なし
＝島崎科長歸京談＝

滿洲國側委員として黑河に於て開催中の水路會議に出席した交通部路政司第三科長島崎庸一氏は廿四日會議の經過報告の爲歸京したが語る
會議開催以來約二ケ月間に卅六回に亘つて非公式並に正式會議を開催したが、ソ聯側の出様も極めて眞面目であつたので會議は思つたより順調に運ばれた、その結果兩者間に既に協定案も出來上り共同作業委員會も設置される事になつて目下議事錄の字句につき折衝中である、此の分なら今月末頃に調印の運ひとならう、なほ北鐵問題の停頓はこの會議には少しも影響なくソ聯側は調印が一日も早く出來るやう急いでゐる

産金買上價格

滿洲國政府の産金買上價格は二十五日から向ふ一週間一瓦につき三圓二角と決定した

滿洲國辭令

任奉天省公署實業廳長敍簡任二等　徐紹卿
任奉天省公署教育廳長敍簡任二等　韋煥章
任吉林省公署警務廳長敍簡任二等　金名世
任吉林省公署實業廳長敍簡任二等　趙汝楳
任吉林省公署教育廳長敍簡任二等　張書翰
任黑龍江省公署民政廳長敍簡任二等　鐘
任黑龍江省公署警務廳長敍簡任二等　河内志郎
　　　　　　　　　　　　　　　　盧元善
任黑龍江省公署實業廳長敍簡任二等
任黑龍江省公署教育廳長敍簡任二等　王賓章
任熱河省公署總務廳長簡任二等　中野琥逸
任熱河省公署警務廳長簡任二等　小林義信
任北滿特別區公署教育處長簡任二等　梁禹襄
任北滿特別區公署地畝處長簡任二等　保康
任新京特別市公署總務處長簡任二等　橋口勇九郎
任新京特別市公署行政處長簡任二等　董暘
任哈爾濱特別市公署總務處長簡任二等　佐藤正俊
任哈爾濱特別市公署工務處長簡任二等　佐藤俊久
任國都建設局總務處長簡任二等　結城清太郎
任國都建設局技術處長簡任二等　近藤安吉
任國道局第一技術處長簡任二等　本間德雄
任國道局第二技術處長簡任二等　寬斌治
任國道局新京國道建設處長簡任二等　原口忠次郎
任國道局奉天國道建設處長簡任二等　中村貞輔
任國道局齊齊哈爾國道建設處長簡任二等　鈴木兵一郎
任土地局長簡任二等　壽聿彰
兼任國務院總務廳人事處長
任國務院總務廳恩賞處長簡任二等　皆川豐治
國務院總務廳次長　阪谷希一
軍政部次長　王靜修
外交部次長　大橋忠一
國都建設局長　阮振鐸
監察院監察官　品川主計
監察院審計官　寺崎英雄
敍簡任一等（各通）
國道局副局長心得
任國道局副局長簡任二等　孔世培
外交部事務官
任外交部通商司長簡任二等　呂宜文
最高法院長　林棨
最高檢察廳長　李槃
北滿特別區長官　呂榮寰
駐日本國特命全權大使　丁士源
給一級俸（各通）
國務院總務廳次長　阪谷希一
法制局長　大達茂雄
國都建設局長　阮振鐸
國道局長　直木倫太郎
興安總署次長　依田四郎
民政部次長　保康
外交部次長　大橋忠一
軍政部次長　王靜修
財政部次長　洪維國
文教部次長　許汝
民政部總務司長　竹内德亥
財政部總務司長　星野直樹
實業部總務司長　高橋康順
司法部總務司長　古田正武
文教部總務司長　西山政猪
奉天省公署總務廳長
吉林省公署總務廳長　久米成夫
黑龍江省公署總務廳長　三浦碌郎
　　　　　　　　　　永井四郎
新京特別市長　金壁東
監察院監察官　品川主計
監察院審計官　寺崎英雄

讀者の聲
〔氏名住所明記の事　中傷はとらず〕

惡官吏を葬れ
憂國居士

滿洲國政府部内の日滿官吏の中で金錢上の不正を働いたものゝみが、臨時日滿司直の手によつてアバかれ、それぞれの處分を受けてゐるやうだが彼の官位を利用して私欲を作り官規を無視して專横の限りを盡し、日滿兩國の親和工作を根本から破壞しつゝある者に對し司直の手が一向に動かないのは、一體どういふ譯であらうか、金錢上の不正のみが決して犯罪構成の全部ではない、日常の事務的にも、精神的にて日滿の親善工作を阻害するやうな横暴振りを發揮して、不平不滿の空氣を釀成する官吏の如きは、或る意味に於てより以上の政治犯として斷乎たる處分を必要とするものではなからうか、仄聞する處によれば、此の種の憎むべき政治犯が政府各部内に相當あるらしい、希くば司直の力によつて公正なるメスを揮ひ滿洲國政府部内にわだかまる不快な空氣を清掃し、日滿官吏の精神的結合を促進して、來るべき國家非常時を突破する一つの大きな力を築き上げて貰ひ度い

大角海相、首相に近く重大進言せん
華府條約廢棄通告につき

【東京國通】ワシントン條約廢棄通告時期につき岡田首相と外務當局は研究中であるが海軍として未決定であるが海軍としては九月上旬山本少將の渡英前に通告時期等對會議方針を閣議にかけて正式決定し携行せしめると共に會商前に松平大使へも報告して置く必要ありとし大角海相は目下海軍、陸軍、外務三省間で事務的に折衝中である軍縮策を閣議に上程する前に三大臣と首相間で充分檢討して一致の成案を得て後閣議に諮る方が解決を早める所以なりとし近く右を首相に進言する筈である

増税の可否決定に 政府愼重考慮
首相賀屋局長から説明聽取

【東京國通】明年度豫算編成に關し、或る程度の増税を行ふ可きか否かに就ては、當の藤井藏相が高橋前藏相の下に主計局長時代熱心な増税主張者であつたので、床次遞相、内田鐵相等が郵便切手ならびに葉書の値上並に鐵道益金の一般會計繰入れは、増税と併行して行はる可きものであると主張してゐるため豫算編成期の＝切迫＝と共に各省方面から注目の焦點となつてゐるが、廿四日の閣議散會後、後藤内相は藤井藏相と共に首相官邸に居殘り、北陸地方水害復舊に關聯して明年度豫算編成と増税問題に關して意見の交換を行ひ、更に後藤内相は岡田首相と會見種々意見を開陳して辭去したが、其後岡田首相は大藏省の賀屋主計局長を招致して、時余に亘り歳入歳出の現狀に就き詳細なる説明を聽取したがこれは政府が増税に對する態度を決定するための準備工作ではないかと言はれてゐる併しながら政府首腦部の意向は軍需工業が異常なる好況によ る、この不公平なデコボコ景氣を平均化するために、軍需工業の利潤に對し、或る程度の増税を爲す可きではないかといふ論もあり、一應肯けるが、一度部分的な増税を行ふ時は將來租税休系の根本に觸れ、所謂税制整理を行ふ場合に非常なる＝支障＝を來すものであるから、部分的増税は殆ど不可能と見る、但し政府側では租税負擔能力薄弱な方面に對しては減税の必要を認めたので増税の必要と共に將來税制の全般に亘つて整理を行ふ計畫を進めてゐる

馬政局
各縣の馬質調査

馬政局は臨時馬事調査令に依つて左記各縣の馬質調査を行ふ事にした
開原縣、遼陽縣、梨樹縣、開通縣、龍江縣、拜泉縣、綏化縣、克山縣、阿城縣、五常縣、双城縣、楡樹縣、農安縣、德惠縣、懷德縣、永吉縣、長春縣、

獨逸への大豆輸出 本年は百萬噸
油房の操業も六割に擴張

獨逸政府は食油種子海外買付禁止の解除及び輸入許可實施を發表せざるも最近事實上油房側に對し相當量の大豆の輸入を認めた、之がため大豆市場の活況を呈した譯であるが其數量は本年八月より十一月迄四十萬トンである即ち本年上半期の輸入量五十萬トンに七月中輸入量を合算すれば本年の大豆輸入量は九十萬トン乃至百萬トンに達する見込み尚又油房の操業も八月より六割に擴張せられる模樣である

駐佛日本大使館へ 帝國主義反抗の抗議文
フランス極左派一味の仕業

【東京國通】廿五日在パリ三谷代理大使より外務省着電によれば、去る八月廿一日パリの日本大使館に一團體が押寄せ代表者數十名が抗議文を突きつけんとしたが、フランス巡査が阻止して事無きを得たところ、廿三日にはソ聯擁護實行委員會なる名稱に於て三谷代理大使宛書面を以て左の如き抗議文を送つて來た、右委員會は極左派に屬する廿一團體八十三萬の會員を擁する結社で抗議文の中には左の如く述べてゐる
フランスの勞働者は日本の侵略的行動に對し飽く迄反抗し日滿兩國に於て現在日本の帝國主義と抗爭しつゝあるものに對して深甚な敬意を表する、我等は即時起つて日本政府反對運動を始める事を警告せんとするものだ、云々
更に右代表は佛國外務省に對しフランス政府が日ソ問題に干與して極東の平和維持に努めん事を陳情したが、右は東歐ロカルノ協定の成立或はソ聯の聯盟加入問題が具体化せんとしてゐる折柄、ソ聯側の魔手に踊る一派で、この運動を起すに至つたものと觀られ日本外務當局は
日本が聯盟脱退直後ニューヨーク、パリ其他各地に於

十河前滿鐵理事 あす來京

滿鐵前理事十河信二氏は二十七日午前七時來京同日午後十時離京の豫定

大藏省廣瀨文書課長着京

廣瀨大藏省文書課長は滿洲國經濟事情視察の爲め過日東京發敦賀より北鮮經由廿五日圖們より飛行機にて午後二時新京に到着した、同日滿京の上ハルビン佳木斯チチハル滿洲里等北滿各地を視察次いで奉天錦州承德等南滿各地を巡歷し九月中旬大連發歸國の豫定である

大洋石灰詰所 匪襲
邦人一名即死一名重傷

【ハルビン國通】當地某所着電によれば二十五日午前一時北滿東部沿線二層子の大洋石灰公司出張詰所に匪賊（數不明）襲來し小銃の亂射を浴びせかけたので詰所員は拳銃を以てこれに應戰したが兵庫縣生れ三方庄一郎（二五）は匪彈命中即死、島根縣生れ牛和朴一郎（二四）は瀕死の重傷を負ひ、岡崎某は身を以て難を逃れたが滿人使用人其他の損害は一切不明で詰所は匪賊のため掠奪された模様、急報に接し阿城より救援隊が現地に急行した

海北鎭北方 鮮人農場に
匪賊來襲鮮農五名を拉致

【チ、ハル國通】廿五日當地に達した情報によれば廿日北鎭東方四里朝鮮人農場に突如中華民國獨立運動員と稱する匪賊八名襲來し、現金八百圓其他金品を強奪、鮮人五名を拉し逃走したので同農場に働く四百五十二名の農夫は恐怖のあまり全部海北鎭に引揚げたので、當地領事館に於ては彼等の恐怖を一掃するため廿六日長谷川部隊長以下〇名が該地に赴き保護する事となつた

て左翼連中の總攻撃的運動が激化した事があるので之等第三インターの行動には充分監視する事になつてると語つた

新京の財界に輝く人々（九）
新京事業界の權威 性格は剛直
新京銀行取締役　丸山直助氏

滿洲建築協會新京分會長丸山直助氏は、長春草分時代からの土木建築請負業者で現在新京における請負業者では押しも押されもせぬ權威者であるなく明治四十五年には新京銀行の前身である長春金融組合を設起し、大正六年には同志を糾合して市場會社を設立するなど一般の財界にも大いに手を出し現に新京銀行、新京市場會社の各取締役、新京建物會社、吉長ヨウ業會社の各事務取締役をかね新京の財界では重要な地位をしめてゐる氏はかつて新京に資本金一萬二千五百圓で東亞煙公司を設立したが、これは東亞煙草に壓せられて豫期の成績をあげることが出來ず創立後三年で人手に渡したこれも三萬圓といふ資本金の倍額以上で讓渡したので株主は大喜びであつた氏が渡滿して以來事業計劃にちがつたといへばこのくらひなものであらう
かくいへば氏の過去は實に平々坦々たるものゝ如く思はれるが決してそうではないのである、滿洲に渡つて以來の三十年間は眞に苦鬪そのものであつた、氏の事業に對する慧眼がよくその失敗を未然に防いだもので今日氏のもつ地位と財力の影には幾多血のにじむやうな苦心がひそんでゐるわけである弱いものは助け強い者に向つては一歩も讓らないといふ所謂親分肌な人で一見その頑張さが伺はれてゐる酒は今日でも好物で斗酒なほ辭せぬといふ酒豪家である

趣味は庭球 眞面目一途の技術家
瓦斯會社支店長　青木哲兒氏

三十萬立方呎を容れる大きな瓦斯タンクのもとで職工と同じやうに朝早くから夜に至るまで孜々として執務してゐる瓦斯會社新京支店長青木哲兒氏は山形縣の人、米澤の高等工業學校を出るとすぐ滿鐵に入り、大正十四年に瓦斯會社が獨立して滿鐵から分離するや同社に轉じ、昨年三月大連の瓦斯製造所長から新京の支店長に着任した技術出身の人である
新京に支店が設置されたのは大正十四年の十一月で、當時新京で瓦斯を使用してゐたものは千六百五十戸、供給量一日平均六萬七千立方呎であつた、それが現在では四千三百五十戸の二十一萬六千立方呎に激增をみてゐるも、然しこの殆んどは日本人なのでこの文明の火力を廣く滿人に利用させることは人々を煤煙の苦しみから救ひ、又町の美觀を保つ上からいつても必要なことなので青木氏は今これが滿人方面への開拓に專念してゐる
氏は技術家の出身だけに世智にたけた交際上手といふ人ではないかもしれないが氣一本で實に眞面目な人である、自分には別に趣味もなく又暇をみて遊びたいとも思はない、たゞ五年なり十年なり後に必ずやくるであらう計劃の實現を夢にえがいて社のため社會のために今日一日を勞一つばい働く事が何よりの喜びであり樂みである…といつてゐるこれは氏の僞らざる言であり又日々の行動によつてよく證明されてゐる事實なのである今は忙しいためあまりラケットを手にしないが庭球は相當なものである

偶語

けふは本社主催の全新京排球選手權大會が、西廣場小學校々庭で開催される、參加チーム十一、その勝敗はいづれに歸するかは誠に興味深いものがある▼本大會も漸く本年第二回を迎へたばかりであるが、年と共に盛んになつてゆくのは主催者として、この上ない喜びで、新京スポーツ界のためにも慶賀すべきことである▼今年は最初もつともつと參加チームも殖えるはずだつたが各學校チームが前日奉天で教員大會があり、鐵道軍また思はぬ支障で出場不能になつたのは呉れぐれも遺憾である▼が本年は昨年の第一回以上に各チームともその陣容整ひ内容もまた充實して來たかに見えるのは、過去一ケ年に亘る一大進歩ともいふべきで、やがて來年がより期待されるものだ▼何といつてもまだ搖籃期にある排球界のことである、野球その他の競技の如く今のところ華々しくはないがしかしこの競技ほど体育上効果的で大衆的のものはない▼その名も体育ボールといはれてゐる位で、今にわが新京にも素晴らしい全盛時代が來るであらうことは何人も疑ひないところであらう▼体育運動として最も効果的なこの競技がいよいよ全市民間に普及され、本大會も第二回より第三回へと更に躍進すべき日の一日も早く至らんことを願つて止まない

天氣	南西の風薄曇
氣温	最高二十七度二　最低十四度六
日出	前四時五十五分
日入	後六時二十七分
月出	前六時五十六分
月入	後六時二十五分

本社主催 第二回排球選手權大會

覇權は何れぞ！ けふこそ戰ひの日

午前九時から入場式擧行

戰ひの日は遂に來た！高鳴る選手の胸には必勝の意氣烈々として燃え、けふこそ輝くオール新京の覇權をめざして一戰また一戰、はなぐ〳〵しい大會の幕が切つて落されるのである、名譽ある最後の榮冠を贏ち得るものは一体誰ぞ！興味は津々として盡きざるものがあらう

本社主催、第二回全新京排球選手權大會はいよいよ今二十六日午前九時から西廣場小學校々庭で開催される、これより先き猛練習をつゞくる幾旬必勝を期するオール新京排球界の精鋭をすぐる十一チーム各主將以下百四十三名（補欠各三名を加へて）が定刻いよいよ

=入場= すると、直ちに國旗揭揚式あり、主催者を代表して本社十河總務開會の挨拶を述べ、やがて機關區對地方事務所B組（第一コート）中央銀行對新聲會（第二コート）によつて競技に入ることになつてゐるが、過去幾旬に亘る猛練習の結果は勝敗の數いづれともつかず、ファンの興味は一層加はる一方である午前に第一回戰、第二回戰を終り、午後は第三回に引續き最後の優勝戰に移るはずで最後の

=優勝= 者に對しては榮えある優勝盃のほか副賞として本社特製メダルおよび賞品を本社から、また新京体育聯盟寄贈のバレーボール一個を、また最後の優勝戰に出場した準優勝チームには本社寄贈メダル、賞品、体育聯盟寄贈ボールがそれぞれ授與されることになつてゐる、かくて優勝盃並に賞品授與式あり、午後四時頃閉會の豫定である

秋祭近づく

渡御の道筋 奉納の催し其他

きのふ總代會で決定

新京神社では二十五日午後一時から氏子總代會を開き來る十四、十五兩日の秋季大祭の打合會をなし豫算七百五十圓の審議とゝもに催し物として花火、神輿渡御、生花、大弓、劍道、角力、その他全般の審議をなした、神輿渡御は午前九時から始められ、祭典の終了後神社から常盤町から西一條通りを地方事務所に至り、驛前から日本橋通りから富士町に出で、東二條通りを三笠町に出で三笠町から中央通りに出で吉野通りの乾寫眞館前の道を廻つて三笠町の新京銀行前で休憩、記念館に至りて晝食、午後は日本橋通りを下つて朝日通りに折れ領事館前を通つて老松町を右に折れダイヤ街の天野ガラス店前で休んで、東二條通り志岐組前で休み、南廣場に出でゝ太子堂で休み神社に至る豫定である

出入從業員に 嚴重身元調査

列車盜難の頻出で

最近頻りに行はれる列車の停車中、車內の盜難は旅客が上衣を脱ぎすてたり、座席あるひは服掛に置き放してホームの便所等に行つてゐる際に行はれる向が多いが一方これ等盜難事件に對して新京署加藤保安主任は驛事務助役と打合せの結果數多い驛員外出入從業員の仕業ではないかとも見られるのでこれが防止策として驛でポーター等を許可する場合に同署で嚴重身許調査を行ひ確實と認めたものに限つて許可することにし、なほ從來ゐる連中の身許も嚴重調査を行つて確かと認めない限りこの際出入を禁止すると

山口鐵道部次長 座談會に來京

滿鐵本社山口鐵道部次長は二十四日から全線各地に視察旁々就任挨拶に巡廻中であるが金州、熊岳城、大石橋、鞍山、遼陽、奉天、橋頭、鷄冠山、安東、四平街、公主嶺で驛、區助役級以上を集めて座談會を開き業務に關すると否とを問はず意見の交換をなす新京には十日目の九月二日午後三時來京、三日會社側市中側に挨拶をなした上晝食時に山口氏を中心に座談會を開く豫定

安東水害救療防疫

猛威を振つた安東の洪水もやつと治まり目下日滿衛生機關の手に依つて水害後に於ける防疫並に救療施設が行はれてゐるが、民政部衛生司よりも之が應援のため符、溫兩股長を廿四日現地に派遣することとなつた

花田凌雲師 建國精神講演

二十七日本願寺で

佛教界の權威者である京都龍谷大學々長花田凌雲師は沿線各地を巡講中、二十七日來京、同夜七時半から市內祝町西本願寺本堂で、「建國精神と大乘佛教」の演題で講演をする、主催は西本願寺、佛教婦人會、佛教青年團、多數來聽を歡迎する

南極捕鯨征覇の壯擧

【神戶國通】捕鯨の南極征覇を目指してノルウエーのオスローに捕鯨母船アンタークティック號（九五九三噸）を購入に赴く東京丸の內日本捕鯨會社駒井一等運轉士以下乘組員六十三名は二十三日午後三時神戶出帆の諏訪丸で出發したが同氏等は捕鯨母船受取りの上モリを擊つ射擊船四隻と共に直ちに南極に向ひ、日本歸着は明年四月末の豫定となつてゐるが南極の鯨狩りは本邦最初の事とて各方面から期待を以つて觀られてゐる、右につき駒井一等運轉士は語る

アンタークティク號は捕鯨船としては優秀船で南極就航についても何等心配はない、捕獲した鯨は直ちに處理し油は同母船の油槽に貯藏出來るなど頗る便利なものだ

國幣偽造犯人檢擧さる

【大連國通】國幣偽造事件の一味大連南ア木町一一ノ七鈴木某方同居人黑木淸德(二九)は市外小平島に潛伏中を二十五日午後一時大連署に檢擧取調中である

送水管の故障から 突如洪水騷ぎ

きのふ中央通圖書館前で 野次馬が見物の山

二十五日午後二時ごろ市瀨工務所が市內曙町附近の消火栓增設工事を施してゐる際、中央通り新京圖書館角の送水管のスピンドルが折れてゐたゝめその個所から水が洩れ、消火栓增設工事は中止の已むなきに至り故障個所を地下七尺掘り下げて修理にとりかゝつたが一台のモーターで汲み出し切れず修繕の手の施し樣がなく、十數個所の濟水瓣までひねり附近一帶濁水が滔々流れ通行人は黑山の樣にたかつて一時は時ならぬ大騷ぎを演じ日暮になるも水はとまらず夜業を始めた、なほそのために市內一部には濁水が送水され後斷水された個所もあつた

興味ふかき けふの組合せ

けふの排球選手權大會の組合せはいよいよ左の如く、午前九時三十分から開始されるはずである

第一回戰

△機關區對地方事務所B —開始前九時三十分— 審判正櫻井(主)副安藤(驛)

△中央銀行對新聲會 —開始 同上— 審判正橫澤(鐵路)副安藤

△鐵路局對保安區 審判正濱井(新聲)副辻(中銀) —開始 同上— 審判正入山(地B)副離場(機)

△新京驛對總務廳主計處 —開始前十一時三十分— 審判正小野(滿)副寺島(地A)

第二回戰

△滿電支店對地方事務所A —開始前十時三十分—

△一回戰勝對一回戰勝者

かくてトーナメント式によつて第三回戰から優勝戰に入るはずである

優勝チームに對し 賞品寄贈申込

きのふ各商店が競つて本社へ

本社主催第二回全新京排球選手權大會はいよいよ今二十六日午前九時から西廣場小學校々庭で開催されることになつたが、右大會に賛助しスポーツ奬勵の意味で新京に於ける二大百貨店である三中井百貨店および金泰洋行および渡邊西山兩運動具店から、それぞれ高價なる賞品の寄贈があり主催者の本社ではこれを快く受納し、優勝者に對し當日副賞として適當にこれを授與することになつた

○ボイルシャツ一打 三中井百貨店

○ノータイシャツ一打 西山運動具店

○銀メタル十二個 渡邊運動具店

○金泰石鹸六打 金泰洋行

いづれ時を經ば 疑惑氷解せん

＝一部世間の誤解を解く＝ 商業校の聲明發表

新京商業學校では今回の不祥事件に關し、大連方面を始め一部父兄間にも、誤解が多からうと頗る氣に病み、これが善後策について赤塚教頭以下職員一同腐心してゐるが、二十五日正午から再び職員會を開いた結果左の聲明書を發表し各方面へそれぞれ發送した

聲明書

去る八月二十二日大連〇〇並に滿洲〇〇夕刊に表はれたる新京商業內紛再燃の記事は事實と相違せるものにして就中一部職員間に校長排斥の陰謀を回らす者あり云々の言句に至りては人を誣ふるの甚だしきものと言はざるを得ず

當校の現狀を見るに上は校長諸制度の改善を圖り適材適所主義を實行してひたすら校內の充實を期し下は教職員皆和衷協同よく校長の意を体して和氣靄々裡に校運の發展を樂しみつつあり不和暗鬪は勿論校長に反感を抱く者の絕無なるは言を俟たざる處なるに斯の如き新聞記事に依りて社會を誤り當局者を傷け青少年に疑惑を懷かしむるに至りしは啻に平地に波瀾を起したるのみならず延いては教育の聖業を破壞せるものにして誠に憂慮に堪へず時を經ば疑惑自ら氷解するに至ることを確信すと雖も取敢へず本件の眞相を明かにして大方の認識是正を乞ふ所以なり

昭和九年八月二十五日
新京商業學校
職員一同

警察分署を襲擊 署長以下拉致

【チチハル國通】廿四日通河より當地警察廳に達した電報に依ると廿一日午前四時頃安國の指揮する匪賊約七十は突如通河西方八滿里の村名不明の警察分署を襲擊、電話線を切斷市街に放火し、署長以下四名を拉致、警士一名を銃殺掠奪後西方に逃走した急報に接した警察隊、江省軍はこれを急追交戰の結果、江省軍戰死五、負傷三を出した、目下詳細不明

日活大動搖

【東京國通】日活計畫部長永田雅一氏が中谷社長の營業方針に對する不滿から辭表を提出して以來果然日活內に旋風を捲起してゐる、永田氏は二十三日新映畫會社設立の計畫を發表したが二十日夜から二十三日にかけて東京撮影所溝口健二、阿部豐の兩監督、中野英治、月田一郎、夏川大二郎、星光、杉狂兒、瀧口新太郎、夏川靜江も參劃する事を電話で申込んで來たり、お膝元の京都配撮影所では大倉千代子の參加決定を始め尾上菊太郎、羅門光三郎、歌川絹江、原駒子等に伊藤大輔、山下貞夫、辻吉朗、小野塚實等も永田氏に殉ずる事になつてゐると云はれ、その外日活の弗箱大河內傳次郎も參加確實とみられ千惠藏プロの參加も豫想され日活は今や大混亂大動搖を來してゐる

外科一般 專門 花柳病科 肛門病科 ドクトル 廣澤德民 日本橋通八〇 電話五四三六 入院 夜診 應需

アジア飛行學校の松本孃 近く訪滿飛行決行

【浦和國通】日本唯一の水上機操縱士たるアジア飛行學校水上飛行士松本君子孃(二六)は日滿親善、皇軍慰問の爲近く滿洲國訪問飛行決行の筈である

北鐵東西兩線との 運賃連絡要望

拉賓線の本營業開始と共に

拉賓線の本營業も愈々五日の後に迫り關係各方面では其の準備に忙殺されてゐるが、本營業開始と共に當然問題化すると見られてゐるのは北鐵東部西部の兩線と拉賓線との連絡運賃設定問題で各輸出入業者間には之が設定の要望は相當熾烈であり、此の解決に就ては多大の注目が拂はれてゐたが當地某方面に達した情報に依れば、既に鐵路總局に對し設定の交渉を開始したと傳へられて居り、此の成行は多大の關心がもたれてゐる

本社主催

いよ〳〵けふ！ 排球選手權大會

午前九時より西廣場小學校庭

對臺灣軍庭球 降雨で中止

全台灣庭球軍は二十五日午前七時、荒木地方事務所長、中山新京体聯理事、鄭總理代理その他多數の出迎を受け來京太陽ホテルに入つたが午前中鄭總理を訪問、記念撮影のうへ榮中銀總裁を訪問、國都建設局に至り結城總務處長から國都建設の狀況を聽いて市內を見物、午後二時から全新京庭球軍との試合を行つたが、成績は左の通りで、午後三時すぎ降雨のため途中中止となつた

台灣		新京
張 杉原	四—三	(上野 手島)
列技 兼村	三—四	(渡邊 松木)
耳井 辛	二—一	(加藤 山田)

なは一行は二十六日午前八時半ハルビンへ向ふ豫定

奉天對新京の 陸上競技

奉天對新京の陸上競技會はいよいよ二十六日午後二時から西公園トラックで開催される第一回戰は僅か一點の差で新京軍が凱歌を奏したが、第二回戰は奉天軍に選手を控へてゐるため再度の凱歌を豫斷することが出來ず一般ファンから非常なる興味をもつて見られてゐる

栗原鑑司博士

【大連國通】滿鐵中央試驗所長兼同所燃料係長工學博士栗原鑑司氏は豫ねて胃癌の爲大連醫院に入院加療中であつたが、二十五日午前六時四十三分永眠した、享年五十六

秋季競馬— いよ〳〵開始

やはりえらい景氣

新京賽馬俱樂部主催の秋季第一次競馬大會は二十五日午前十時から新京大房身競馬場で切つて落されたこの日ファンは大空目指して定刻前場內に押寄せたが土曜日のことゝて午後から一層の人出であつたところ七レースから降雨となり中止した殘りは二十六日午後零時三十分から開始することになつた

第一日

▲第一競馬(五頭)二〇〇〇米 (一)快力(騎手落合)二分五〇秒(二)飛龍
配當(復)(一)三圓〇〇錢 (二)六圓九〇錢 三圓六〇錢
搖彩票(單)一等 一二圓八〇錢 二等 三圓二〇錢 等外 一圓八〇錢

▲第二競馬(八頭)一八〇〇米 (一)白菊(騎手白石)二分四八秒二(二)葉蔭(三)第二金幸
配當(復)(一)三圓四〇錢 (二)五圓二〇錢 (三)四圓九〇錢 四圓八〇錢
搖彩票(單)一等 八〇圓六〇錢 二等 二三圓一〇錢 三等 一一圓五〇錢 等外 五圓七〇錢

▲第三競馬(八頭)一八〇〇米 (一)金鹿(騎手原田)二分四八秒二(二)絹棚(三)花總
配當(復)(一)六圓五〇錢 (二)四圓三〇錢 (三)七圓〇〇錢 八六圓四〇錢
搖彩票(單)一等 一二圓〇〇錢 二等 三二圓〇〇錢 三等 一六圓〇〇錢 等外 八圓〇〇錢

▲第四競馬(七頭)一六〇〇米 (一)西風(騎手原田)二分一八秒四(二)大連霧島
配當(復)(一)五圓四〇錢

▲第五競馬(十二頭)二六〇〇米 (一)玉峰(騎手寺田)二分二六秒四(二)丹旗(三)夕風
配當(復)(一)三圓七〇錢 (二)三圓七〇錢 (三)四圓〇〇錢
搖彩票(單)一等 一一圓五〇錢 八八圓八〇錢 二等 二二圓二〇錢 等外 五圓五〇錢

(三)四圓〇〇錢
搖彩票(單)一等 二〇一圓六〇錢 一三圓二〇錢 二等 五七圓六〇錢 三等 一八圓八〇錢 等外 九圓〇〇錢

▲第六競馬(十二頭)一八〇〇米 (一)多摩(騎手城內)二分三四秒(二)矢風(三)矢吹
配當(復)(一)一〇圓三〇錢 (二)二圓二〇錢 (三)五圓二〇錢
搖彩票(單)一等 七七圓二〇錢 二等 二九五圓六〇錢 三等 八四圓四〇錢 等外 四二圓〇〇錢 八圓八〇錢

▲第七競馬(七頭)二〇〇〇米 (一)金勇(騎手高尾)二分五四秒四(二)伏龍泉
配當(復)(一)四圓八〇錢 (二)六圓八〇錢 五圓六〇錢
搖彩票(單)一等 一八一圓七〇錢 二等 四五圓四〇錢 等外 一一圓三〇錢

男讀むべからず

水谷八重子、竹久千惠子、丸山茂子の三婦人が思ひ切つて男の弱點男の正體、男操縱法を日の出九月號に發表したトテモ面白い

西本願寺 日曜法話

西本願寺では毎日曜、午前六時から晨朝法話、午前九時から日曜學校午後一時から日曜講話を催してゐる

居住消息

▲山口晋三氏（佐賀縣）錦町一丁目四ノ二警察官舍七十三號へ
▲春日久治氏（新潟縣）新京醫院へ
▲古閑勝治氏（熊本縣）奉天から中央通り八番地三興洋行へ
▲赤木德充氏（佐賀縣）日出町二ノ一目四番地ノ二へ
▲仁尾重彥氏（高知縣）祝町三丁目九番地中央公舘へ
▲山口寅次郎氏 大連から和泉町一丁目十五番地ノ一木村方へ

轉居

▲三宅精一氏 羽衣町から北安路四百二號地修養會舘へ
▲恒川秀一郎氏 永樂町から羽衣町一丁目高橋方へ

誕生

▲古淸水㐂雄氏（大和通四十六番地ノ二）長男一雄さん十四日出生